

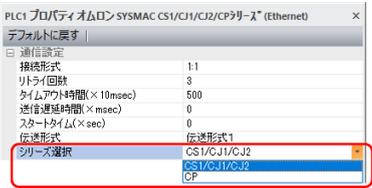
MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.39.0		
本体プログラムバージョン	V9 : 2.200	TS2060 : 2.340	V8(N) : 2.340
OSバージョン	V9 : 4.00		

バージョンアップ内容

接続	<p>1. 接続可能機種追加 : オムロン CPシリーズ 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: オムロン SYSMAC CS1/CJ1/CJ2/CPシリーズ(Ethernet) SYSMAC CS1/CJ1/CJ2/CPシリーズ(Ethernet Auto) SYSMAC CS1/CJ1/CJ2/CPシリーズ DNA(Ethernet) 仕様変更: PLCプロパティに[シリーズ選択]を追加</p> 
接続	<p>2. 接続可能機種追加 : Siemens S7-1200/1500 タグ(Ethernet ISOTCP) 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: Siemens S7-1200/1500 タグ(Ethernet ISOTCP)</p>
接続	<p>3. 接続可能機種追加 : Siemens LOGO! (Ethernet ISOTCP) 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: Siemens LOGO! (Ethernet ISOTCP)</p>
接続	<p>4. 接続可能機種追加 : FATEK AUTOMATION FACON FBsシリーズ(Ethernet) 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: FATEK AUTOMATION FACON FBsシリーズ(Ethernet)</p>
接続	<p>5. 接続可能機種追加 : Panasonic LP-RFシリーズ 対応機種: V9/TS2060 接続機種: Panasonic LP-RFシリーズ</p>
接続	<p>6. 接続可能機種追加 : Panasonic LP-RFシリーズ(Ethernet) 対応機種: V9/TS2060i 接続機種: Panasonic LP-RFシリーズ(Ethernet)</p>
接続	<p>7. 接続可能機種追加 : 日立産機システム SJシリーズ P1(MODBUS RTU) 対応機種: V9/TS2060/V8(N) 接続機種: 日立産機システム SJシリーズ P1(MODBUS RTU)</p>
接続	<p>8. 接続可能機種追加 : CIMON CP3E 対応機種: V9/TS2060/V8(N) 接続機種: CIMON CP3E</p>
接続	<p>9. 接続可能機種追加 : その他 汎用AE-LINK 対応機種: V9/TS2060/V8(N) 接続機種: その他 汎用AE-LINK</p>
接続	<p>10. プリンタ接続可能機種追加 対応機種: V9シリーズ *OSのアップデート必要 接続機種: HPプリンタ HPLIP Ver. 3.18.6までの機種 *V9 ハードVer. f以降で対応 EPSONプリンタ EP-712A</p>
エディタ	<p>11. BECKHOFF タグ ADSプロトコル(Ethernet TCP/IP) エディタ仕様拡張 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: BECKHOFF タグ ADSプロトコル(Ethernet TCP/IP)</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タグ名を選択してインポートに対応 ・局番/ADSポートNo.の一括変更に対応

12. ローカル画面仕様変更

対応機種：V9シリーズ

【概要】

ローカル画面に表示される[画面データの設定に戻す]スイッチ横に、「画面データの設定と異なります」の補足メッセージを表示します。

【対象】

- ・LAN/LAN2/LANユニット設定
- ・E-Mail設定
- ・通信設定
- ・システム設定(ブザー/バックライト)



ローカル画面で設定を変更すると表示されます。

本体

13. ローカル画面 増設I/O画面対応

対応機種：V9シリーズ

【概要】

シリアル増設I/Oユニット「V-I/O」接続時、ローカル画面の[I/Oチェック]→[増設I/O]メニューで接続テストができます。



本体

14. メインメニュー画面 通信パラメータ 信号レベル表示改善

対応機種：TS2060

【概要】

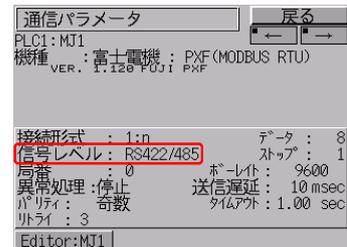
通信パラメータに表示される信号レベルの表記を「RS-422」から「RS-422/485」に改善します。

<変更前(本体プログラム：V2.320以前)>

エディタで信号レベル「RS-485」を選択していても、本体のメインメニュー画面の通信パラメータでは、信号レベル「RS-422」と表示されていた。

<変更後(本体プログラム：V2.340以降)>

エディタで信号レベル「RS-485」を選択すると、本体のメインメニュー画面の通信パラメータでは、信号レベル「RS-422/485」と表示する。



本体

15. USBカメラ 情報出力デバイス機能拡張

対応機種：V9シリーズ

【概要】

イベントレコード機能 録画状態の停止/開始状態とイベントレコード機能の使用有無を情報出力デバイスに出力します。

【必要な設定】

[システム設定]→[ハードウェア設定]→[USBカメラプロパティ]→[録画/表示設定]
情報出力デバイスを使用「する」に設定

情報出力デバイス

4ビット目(イベントレコード機能使用時のみ)

0: イベントレコード機能 開始

1: イベントレコード機能 停止中

5ビット目

0: イベントレコード機能を使用しない

1: イベントレコード機能を使用する



機能

16. 画面データ転送 機能拡張1

対応機種: V9/TS2060

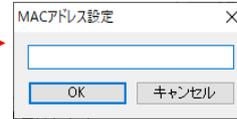
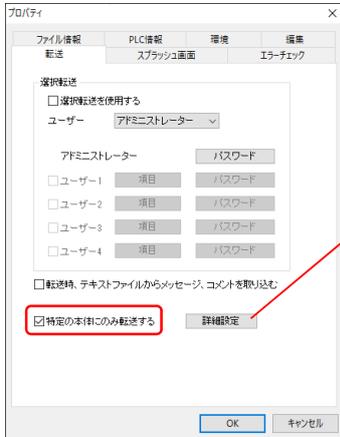
対象転送方法: USB/Ethernet/シリアル転送

【概要】

特定のMACアドレスの本体にのみ、画面データ転送(書込)を許可する機能を追加しました。画面データの誤送信を防止します。

【必要な設定】

1. [ファイル]→[プロパティ]→[転送]タブ→[特定の本体にのみ転送する]にチェックを付ける。
2. [詳細設定]→[追加]をクリックして、転送したい本体のMACアドレスを設定する。



:(コロン)なしの半角英数12文字で入力します。
CSVファイルからのインポートも可能です。

【設定管理用パスワード】
詳細設定ダイアログを開く際に
ロックをかけることができます。
(最大半角英数字16文字)

機能

17. 画面データ転送 機能拡張2

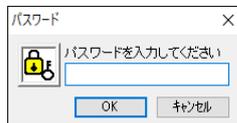
対象転送方法: USB/Ethernet/シリアル転送

【概要】

画面データ転送(読込/書込)の実行をパスワードで制御する機能を追加しました。画面データ書込開始前、または本体から画面データ吸い上げてエディタ上に表示する前に、パスワード入力画面が表示されます。

【設定箇所】

1. [ファイル]→[プロパティ]→[ファイル情報]タブ→[画面データ送受信]にチェックを付ける。
2. [パスワードの変更]をクリックして、パスワードを設定する。(最大半角英数16文字)



【使用例】



画面データ送受信パスワード: EFGH
画面データをエディタで開く時のパスワード: ABCD

<画面データ書込時>
パスワード: EFGH

<画面データ読込時>
パスワード: EFGH *画面データ送受信のパスワードを設定していない場合、パスワードは「ABCD」になります。

<画面データをエディタで開く時>
パスワード: ABCD

機能

18. トレンドアイテム ログिंगワード数拡張

対応機種: V9シリーズ

【概要】

トレンドアイテムのログिंगワードNo.を「0~255」から「0~32767」に拡張しました。
(例)トレンド(表示方法: グラフ表示)



エディタ

19. 画面データ編集時 パスワードロック機能追加

【概要】

画面データ編集時、パスワードロック機能に対応しました。

[スーパーユーザー]、[パワーユーザー]、[一般ユーザー]3段階のユーザーレベルを設定できます。

ユーザーレベルに応じたパスワードを登録しておくことで、画面データの編集をユーザーのログインレベルに合わせて制御できます。

【ユーザーレベル設定 対象箇所】

項目	設定箇所	項目	設定箇所
スクリーン	・[画面設定]→[スクリーン設定]→[メイン]タブ (A)	オーバーラップライブラリ	・オーバーラップライブラリ上での右クリック (B)
	・スクリーン上での右クリック (B)		・画面一覧上での右クリック (B)
	・画面一覧上での右クリック (B)		・プロジェクトビュー (C)
	・プロジェクトビュー (C)		・プロジェクトビュー上での右クリック (D)
スクリーン(オープン/クローズ/サイクルマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)	オーバーラップライブラリ(オープン/クローズマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)
		マクロモード(ON/OFFマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)
スイッチ(ON/OFFマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)	グループ/リンク	・アイテム選択→右クリック (B)
グローバルファンクションスイッチ(ON/OFFマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)	アラームブロック(動作設定→発生/解除動作マクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)
ローカルファンクションスイッチ(ON/OFFマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)	スケジューラ(動作→スケジューラマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)
マクロブロック	・マクロブロックのメニューバー (F)		
	・プロジェクトビュー上での右クリック (D)		

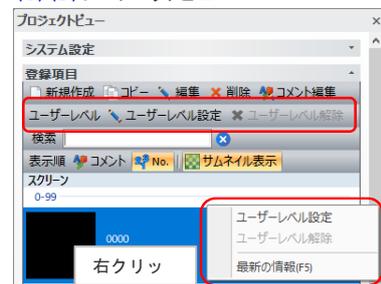
(A) [画面設定]→[スクリーン設定]→[メイン]タブ



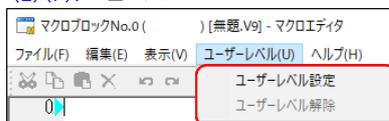
(B) 右クリックメニュー



(C) (D) プロジェクトビュー



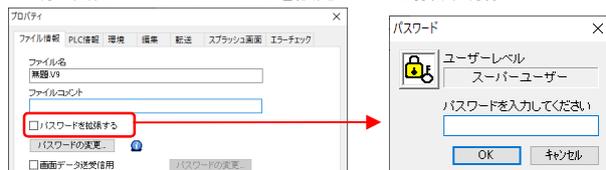
(E) (F) メニューバー



【必要な設定】

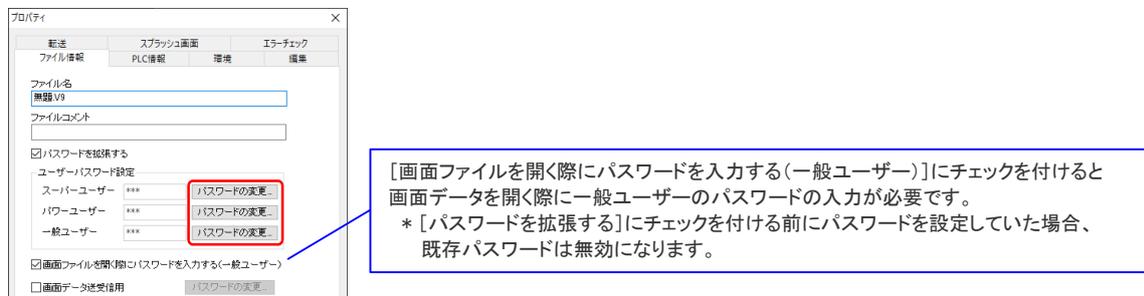
1. [ファイル]→[プロパティ]→[ファイル情報]タブ→[パスワードを拡張する]にチェックを付け、[スーパーユーザー]のパスワードを設定する。(最大半角英数16文字)

* 既に画面データにパスワードを設定していた場合、既存パスワードが[スーパーユーザー]のパスワードになります。



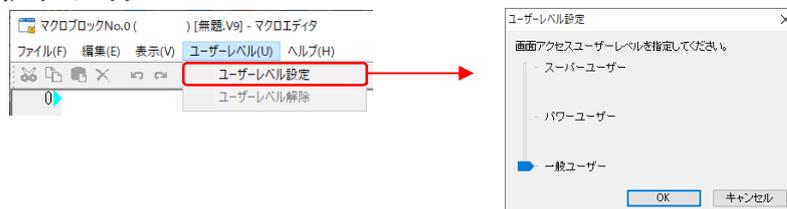
2. [パワーユーザー]、[一般ユーザー]それぞれのパスワードを設定する。(最大半角英数16文字)

* 既に画面データにパスワードを設定していた場合、各ユーザーのパスワード変更時に既存パスワードが必要です。



3. ユーザーレベル設定 対象箇所、ユーザーレベルを設定する。

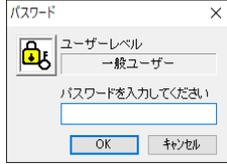
(例) マクロブロック



つづき⇒

【使用例】

1. マクロブロックNo. 0に、ユーザーレベル:一般ユーザーを設定し、画面データを保存する。
2. 画面データを開き直し、マクロブロックNo. 0を編集しようとする、以下のダイアログが表示される。
パスワードが一致した場合は、マクロブロックNo. 0の編集が可能となる。パスワードが不一致の場合は、編集不可。



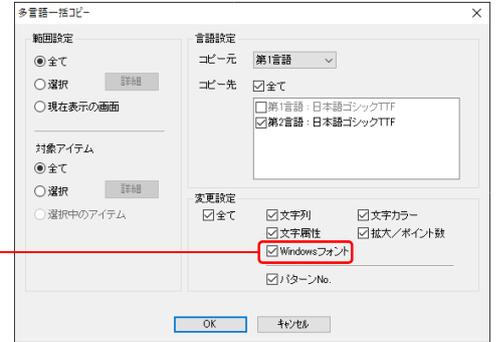
20. 多言語一括コピー 仕様拡張

【概要】

多言語一括コピーで、数値表示や文字列表示のWindowsフォントが一括コピーできるようになりました。

【設定箇所】

[ツール]→[多言語]→[多言語一括コピー]→[Windowsフォント]にチェックを付ける。



<対象アイテム追加>

- ・数値表示
- ・文字列表示
- ・表形式データ表示(数値/文字列)

エディタ

21. パーツ追加

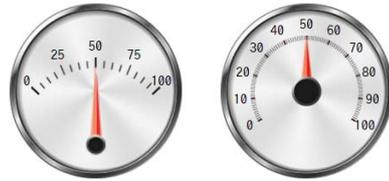
対応機種: V9シリーズ

【概要】

パネルメータにクォーターパーツが増えました。拡大してもキレイに表示できます。

【パネルメータ】

- プレーン →イラスト1
- リアル →メタル1



エディタ

22. シンボル編集 仕様拡張

【設定箇所】

[ホーム]→[登録項目]→[シンボル]

■ [使用状況]列追加

【概要】 [シンボル]編集ウィンドウに[使用状況]列を追加しました。

ID	シンボル	タイプ	配列	要素数	デバイス	コメント	使用状況
0	周波数設定	ワード	<input type="checkbox"/>		D00100	Inverter Port No.1	使用中
1	加速時間	ワード	<input type="checkbox"/>		D00101	Inverter Port No.1	未使用
2	警報1	ビット	<input type="checkbox"/>		M00000	ON:Abnormal OFF:Normal	使用中
3	警報2	ビット	<input type="checkbox"/>		M00001	ON:Abnormal OFF:Normal	未使用
4	警報3	ビット	<input type="checkbox"/>		M00002	ON:Abnormal OFF:Normal	未使用
5	カウンタ(現在値)	ダブルワード	<input type="checkbox"/>		CTH00000	Highspeed counter(current value)	使用中
6	カウンタ値1	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	使用中
7	カウンタ値2	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
8	カウンタ値3	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
9	フラグ1	ビット変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
10	フラグ2	ビット変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	使用中

■ 使用箇所表示

【概要】 [使用状況]列の「使用中」セルをクリックすると、使用箇所を表示します。使用箇所をダブルクリックすると、使用箇所へジャンプします。

ID	シンボル	タイプ	配列	要素数	デバイス	コメント	使用状況
0	周波数設定	ワード	<input type="checkbox"/>		D00100	Inverter Port No.1	使用中
1	加速時間	ワード	<input type="checkbox"/>		D00101	Inverter Port No.1	未使用
2	警報1	ビット	<input type="checkbox"/>		M00000	ON:Abnormal OFF:Normal	使用中
3	警報2	ビット	<input type="checkbox"/>		M00001	ON:Abnormal OFF:Normal	未使用
4	警報3	ビット	<input type="checkbox"/>		M00002	ON:Abnormal OFF:Normal	未使用
5	カウンタ(現在値)	ダブルワード	<input type="checkbox"/>		CTH00000	Highspeed counter(current value)	使用中
6	カウンタ値1	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	使用中
7	カウンタ値2	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
8	カウンタ値3	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
9	フラグ1	ビット変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
10	フラグ2	ビット変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	使用中

クリック

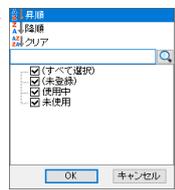
スクリーン[0]ランプランプデバイス
スクリーン[1]ランプランプデバイス

ダブルクリックで
使用箇所へジャンプ

■ フィルタ追加

【概要】 [シンボル]、[タイプ]、[デバイス]、[コメント]、[使用状況]列にフィルタを追加しました。

ID	シンボル	タイプ	配列	要素数	デバイス	コメント	使用状況
0	周波数設定	ワード	<input type="checkbox"/>		D00100	Inverter Port No.1	使用中
1	加速時間	ワード	<input type="checkbox"/>		D00101	Inverter Port No.1	未使用
2	警報1	ビット	<input type="checkbox"/>		M00000	ON:Abnormal OFF:Normal	使用中
3	警報2	ビット	<input type="checkbox"/>		M00001	ON:Abnormal OFF:Normal	未使用
4	警報3	ビット	<input type="checkbox"/>		M00002	ON:Abnormal OFF:Normal	未使用
5	カウンタ(現在値)	ダブルワード	<input type="checkbox"/>		CTH00000	Highspeed counter(current value)	使用中
6	カウンタ値1	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	使用中
7	カウンタ値2	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
8	カウンタ値3	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
9	フラグ1	ビット変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
10	フラグ2	ビット変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	使用中



エディタ

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.38.0		
本体プログラムバージョン	V9 : 2.150	TS2060 : 2.320	V8 (N) : 2.320
OSバージョン	V9 : 3.90		

バージョンアップ内容

接続

1. 接続可能機種追加 : キーエンス KV-8000

対応機種: V9/TS2060i/V8i(N)
 接続機種: キーエンス KV-7000/8000(Ethernet TCP/IP)

接続

2. 接続機種仕様拡張 : キーエンス UGデバイス(拡張ユニットバッファメモリ)対応

対応機種: V9/TS2060/V8(N)
 接続機種: キーエンス KV-3000/5000
 KV-3000/5000(Ethernet TCP/IP)
 KV-7000/8000(Ethernet TCP/IP)
 KV Nano
 KV Nano(Ethernet TCP/IP)

仕様拡張: UGデバイス(拡張ユニットバッファメモリ)に対応。

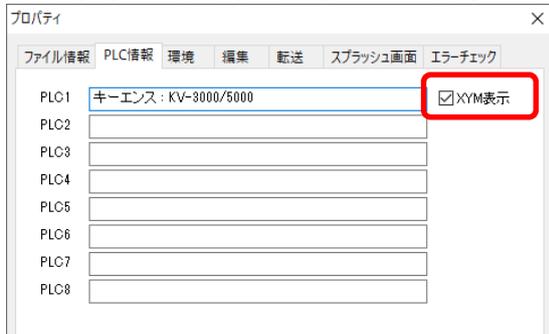
エディタ

3. キーエンス PLCデバイスのXYM表示対応

対象機種: キーエンス KV-3000/5000
 KV-3000/5000(Ethernet TCP/IP)
 KV-7000/8000(Ethernet TCP/IP)
 KV Nano
 KV Nano(Ethernet TCP/IP)

【概要】
 PLCデバイスの表示をXYM表示に変更することができます。

【設定箇所】
 [ファイル]→[プロパティ]→[PLC情報]タブで「XYM表示」のチェックを付ける。



【表示内容】

通常表示		XYM表示	
デバイス	アドレス範囲	デバイス	アドレス範囲
R	00000~199915	X(入力)	0000~1999F
		Y(出力)	0000~1999F
		R	0000~199915
MR	000000~399915	M	00000~63999
LR	00000~99915	L	00000~15999
DM	00000~65534	D	00000~65534
EM	00000~65534	E	00000~65534
FM	00000~32767	F	00000~32767

機能

4. 帳票印刷の行間設定

対応機種: V9シリーズ

【概要】
 帳票印刷の行間設定に対応しました。\$s1807を使用して変更します。
 \$s1807 = 1 : 1/8インチ(最小値)
 \$s1807 = 1以外 : 1/6インチ(既存値)

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.36.0		
本体プログラムバージョン	V9 : 2.100	TS2060 : 2.320	V8(N) : 2.320
OSバージョン	V9 : 3.90		

バージョンアップ内容

接続	1. 接続可能機種追加 : 三菱電機 QnUシリーズ(マルチCPU)(内蔵Ethernet) 対応機種: V9 接続機種: 三菱電機 QnUシリーズ(マルチCPU)(内蔵Ethernet)
接続	2. 接続可能機種追加 : オムロン EJ1 対応機種: V9/TS2060/V8(N) 接続機種: オムロン EJ1
接続	3. 接続可能機種追加 : キーエンス KV Nano 対応機種: V9/TS2060/V8(N) 接続機種: キーエンス KV Nano
接続	4. 接続可能機種追加 : キーエンス KV Nano(Ethernet TCP/IP) 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: キーエンス KV Nano(Ethernet TCP/IP)
接続	5. 接続可能機種追加 : キーエンス DL-RS1A(SK-1000) 対応機種: V9/TS2060/V8(N) 接続機種: キーエンス DL-RS1A(SK-1000)
接続	6. 接続可能機種追加 : BECKHOFF タグADSプロトコル(Ethernet) 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: BECKHOFF タグADSプロトコル(Ethernet)
接続	7. 接続可能機種追加 : CIMON XPシリーズ 対応機種: V9/TS2060/V8(N) 接続機種: CIMON XPシリーズ
接続	8. 接続可能機種追加 : 3S-Smart Software Solutions CODESYS V3(Ethernet) 対応機種: V9 *OSのアップデート必要 接続機種: 3S-Smart Software Solutions CODESYS V3(Ethernet)
接続	9. 接続可能機種追加 : Gammaflux G24(Ethernet TCP/IP) 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: Gammaflux G24(Ethernet TCP/IP)
接続	10. 接続機種仕様追加 : SAIA PCD 対応機種: V9/TS2060/V8(N) 仕様追加: 局番を0~255Iに拡張
接続	11. 接続機種仕様追加 : Modbusスレーブ(TCP/IP) 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 仕様追加: PLC2~PLC8で複数の設定を許可(複数のModbusマスター機器と接続可能)
接続	12. 接続機種仕様追加 : ラダーモニタ 対応機種: V9 接続機種: オムロン Cシリーズ(C200H/C200HXのみ対応)
接続	13. アクセサリ追加 : V-I/O(シリアル増設I/O) 対応機種: V9 概要: アクセサリ V-I/O(シリアル増設I/O)の接続対応

14. VNCサーバ機能拡張

対応機種: V9シリーズ *OSのアップデート必要
対応機能: VNCサーバ機能

【設定箇所】

[システム設定]→[Ethernet通信]→[VNCサーバ]→[VNCサーバ設定]

■ユーザ登録

【概要】 VNC接続のユーザ登録を画面データで行えます。
画面作成時に登録しておけば、
画面転送後にVNCサーバ機能が使用できます。

[接続許可デバイス]

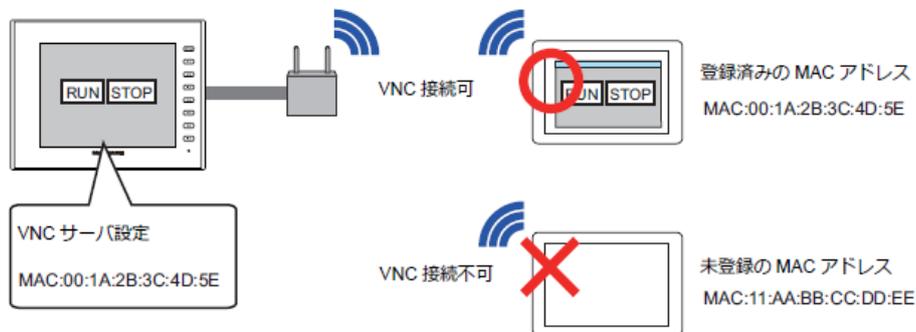
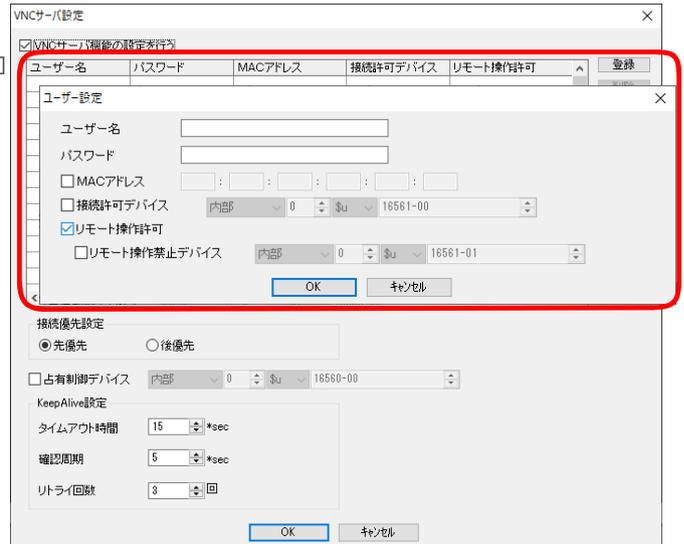
VNC接続の許可/禁止をRUN中に制御できます。

[リモート操作禁止デバイス]

リモート操作の許可/禁止をRUN中に制御できます。

[MACアドレス]

接続機器を固定にできます。

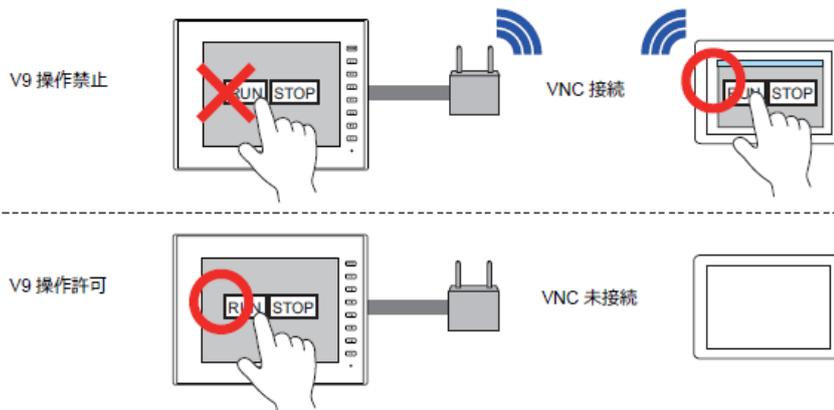


■接続優先設定

【概要】 VNC接続は1:1接続です。同時に複数台からの接続要求が来た場合、前後どちらの接続を優先するか選択できます。

■占有制御デバイス

【概要】 VNC接続時、VNC側がリモート操作を占有し、V9本体の操作(SYSTEM/ファンクションスイッチ含む)を禁止にできます。



■認証画面の非表示

【概要】 VNC接続時の認証画面を非表示にできます。

【設定】 [システム設定]→[本体設定]→[環境設定]→[VNCサーバ機能をユーザー認証なしで使用する]にチェックを入れる
合わせて[リモート操作を禁止する]にチェックを入れると、リモートモニタのみの接続になります。

15. 操作ログ機能拡張

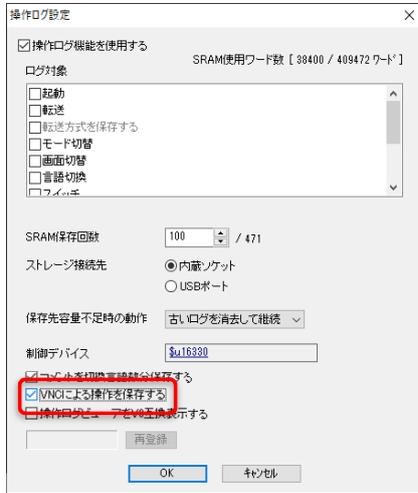
対応機種: V9シリーズ *OSのアップデート必要
 対応機能: 操作ログ

【概要】

V9本体の操作ログとVNCサーバ機能によるリモート操作のログを区別できます。
 リモート操作のログには、接続機器のMACアドレスが保存されます。

【設定箇所】

[システム設定]→[その他]→[操作ログ設定]→
 [VNCによる操作を保存する]



日付 / 時間	ユーザーID	セキュリティレベル	VNCユーザー	MACアドレス	
2000/01/30 16:53					画面切
2000/01/30 16:53					スイッ
2000/01/30 16:53			vnc	D8:9E:F3:34:E6:76	スイッ
2000/01/30 16:53					画面切
2000/01/30 16:54			vnc	D8:9E:F3:34:E6:76	スイッ
2000/01/30 16:54			vnc	D8:9E:F3:34:E6:76	スイッ
2000/01/30 16:54			vnc	D8:9E:F3:34:E6:76	画面切

機能

16. 帳票PDF出力 機能拡張

対応機種: V9シリーズ *OSのアップデート必要
 対応機能: 帳票

【概要】

【追記】

既存のPDFファイルに追記(ページ追加)できます。
 ファイルサイズ:50MBまで

【タイムスタンプ】

ファイル名にタイムスタンプを付ける/付けない を選択できます。

【サブフォルダ名指定】

PDFファイルの保存先フォルダ名を指定できます。

【出力先選択デバイス】

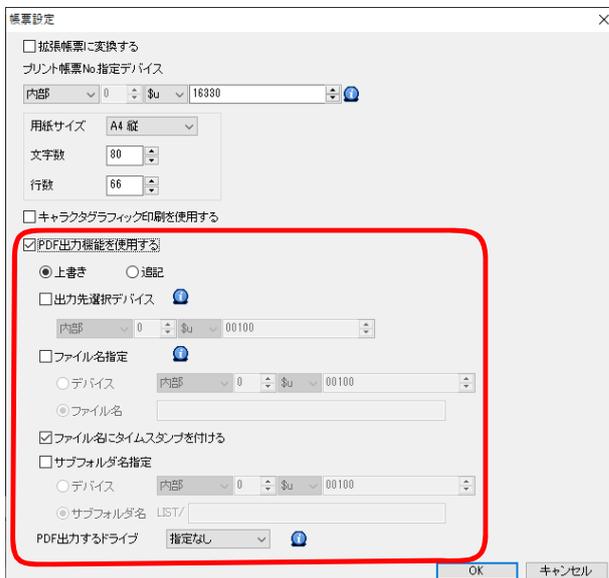
以下の項目をRUN中に変更できます。

- ・プリンタ出力/PDF出力
- ・上書き/追記
- ・サブフォルダ名指定 あり/なし
- ・タイムスタンプ あり/なし



【設定箇所】

[ホーム]→[登録項目]→[帳票]で[編集]→[帳票設定]を選択
 [PDF出力機能を使用する]チェックを入れて設定



マクロコマンド SYS(STA_LIST)を使う場合は
 システムデバイス \$s1656で
 ・プリンタ出力/PDF出力
 ・上書き/追記
 ・サブフォルダ名指定 あり/なし
 ・タイムスタンプ あり/なし
 を設定します。

機能

17. USBカメラ 仕様追加

対応機種: V9シリーズ

【概要】

イベントレコード機能 録画状態の停止/開始 マクロコマンドを追加しました。
停止中は、動画ビューアによるファイルの再生ができます。
スクリーン切替時に録画状態を停止すると切替が早くなります。

【マクロコマンド】

停止 USBCAM_REC STOP
開始 USBCAM_REC START

機能

18. RESTARTマクロ 仕様追加

対応機種: V9シリーズ

【概要】

SYS(RESTART)マクロのパラメータを追加しました。

既存動作1 再起動(F1+1 0ビット OFF)

RUN画面→スプラッシュ画面+「リスタートします。…」→ローカル画面+「リスタートします。…」→スプラッシュ画面→RUN画面

* F1=0の場合、「リスタートします。…」非表示

F1≠0の場合、F1秒間「リスタートします。…」表示

既存動作2 OSから再起動(F1+1 0ビット ON)

RUN画面→スプラッシュ画面+「リスタートします。…」→ローカル画面+「リスタートします。…」*→真っ暗→DataLoading

→スプラッシュ画面→RUN画面

* F1=0の場合、ローカル画面+「リスタートします。…」非表示

F1≠0の場合、F1秒間ローカル画面+「リスタートします。…」表示

【マクロコマンド】

SYS(RESTART) F1

F1	時間(秒)		
F1+1	0ビット目 OFF	再起動	既存動作1
	0ビット目 ON	OSから再起動	既存動作2
	1ビット目 ON	ローカル画面非表示	NEW
	2ビット目 ON	スプラッシュ画面の「リスタートします。…」メッセージ非表示	NEW
	3ビット目 ON	F1秒後に「リスタートします。…」のメッセージを表示	NEW 0ビット目ON時有効

機能

19. システムデバイス追加

対応機種: V9シリーズ

【概要】

システムデバイス\$s1016に、マクロコマンドMOVで値をセットすると、\$s1018にバージョン情報を格納できます。

【システムデバイス】

\$s1016	0: 本体プログラムバージョン	14: PLC5ドライババージョン
	3: フォントバージョン	15: PLC6ドライババージョン
	4: OSバージョン	16: PLC7ドライババージョン
	10: PLC1ドライババージョン	17: PLC8ドライババージョン
	11: PLC2ドライババージョン	18: シミュレータバージョン
	12: PLC3ドライババージョン	22: 日本語変換(FEP)プログラムバージョン
	13: PLC4ドライババージョン	
\$s1018	\$s1016にセットした値を元にバージョン情報を格納	

【設定例】

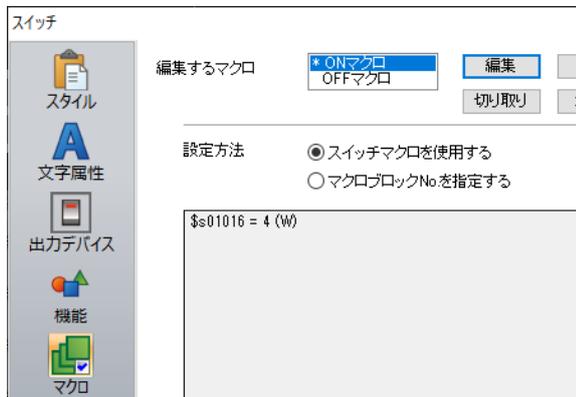
OSバージョンを取得する場合

スイッチONマクロで \$s1016=4(W) を実行

↓

\$s1018に OSバージョンが格納されます。

\$s1018=380 の場合 OSVer.3.80



機能

20. シンボル Siemens TIA Portal Ver.15.1/16対応

【概要】

SiemensのソフトTIA Portal (Ver.15.1 / 16) で作成したTIAプロジェクトファイル(*.ap15_1, *.ap16)のインポートに対応します。

エディタ

21. パーツ追加

対応機種：V9シリーズ

【概要】

パーツの選択肢が増えました。拡大してもキレイに表示できます。

アニメーションのパーツは、マクロやラダーでランプデバイスを変化させれば動きのある表示ができます。

[パネルメータ]

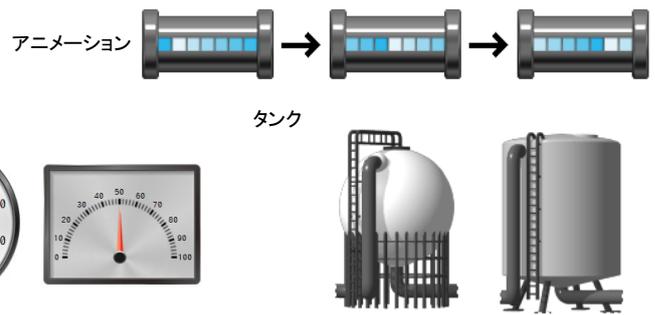
ブレーン →イラスト1/イラスト2
リアル →メタル1/メタル2

[スイッチ]

ブレーン →プラント1
アニメーション→プロア1/バルブ1
リアル →プラント4

[ランプ]

ブレーン →プラント1
高画質 →タンク1/タンク2/プロア1
アニメーション→パイプ1/パイプ2/パイプ3/パイプ4/パイプ5/パイプ6/プロア1/バルブ1
リアル →プラント4



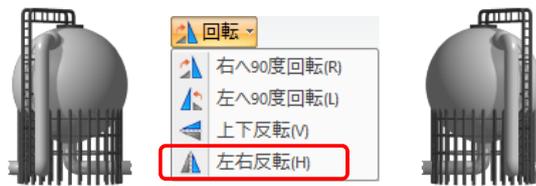
エ
デ
イ
タ

22. パーツ反転

【概要】

スイッチ/ランプの反転(上下/左右)に対応しました。

*ただし、2D→角型2 は未対応



エ
デ
イ
タ

23. フォント設定 コメント登録

【概要】

[システム設定]→[フォント設定]で各言語に[コメント]欄を追加しました。

[コメント]は、[言語表示]メニュー、多言語編集シート等に表示されます。

多言語画面編集時、同一フォントで複数言語の編集を行う場合に便利です。

フォント設定

フォント 転送フォント エクスポート/インポート

ローカル画面 日本語

フォント ビットマップフォント

第1言語: 日本語32
第2言語: 英語/西歐 [英語]
第3言語: 英語/西歐 [ドイツ]
第4言語: 英語/西歐 [イタリア]

言語表示

ファイル ホーム

OFF

1: 日本語32
2: 英語
3: ドイツ
4: イタリア

表示言語

表示環境設定

表示 その他

スイッチ/ランプ表示 OFF

表示言語 第1言語: 日本語32
オーバーラップ表示 第1言語: 日本語32
第2言語: 英語
第3言語: ドイツ
第4言語: イタリア

多言語編集シート

No.	使用箇所	1: 日本語	2: 英語	3: ドイツ	4: イタリア
0	スクリーン[0] スイッチ	[停止] [] []	[] [] [] []	[] [] [] []	[] [] [] []
1	スクリーン[0] 数値表示	[DATA_D_00000]	[DATA_D_00000]	[DATA_D_00000]	[DATA_D_00000]
2					

エ
デ
イ
タ

24. 自動リサイズ機能仕様追加

【概要】

解像度の異なる機種に機種変更する際、文字列のリサイズをポイント数で行う設定を追加します。

QVGA(320x240)→VGA(640x480)の変更の場合、縦横各2倍のサイズになるため10ptの文字は20pt、16ptの文字は32ptになります。ただし、文字列の領域をはみ出すため、レイアウトの調整が必要になります。

【対象フォント】

TrueTypeフォント、ゴシックフォント、ストロークフォント、Windowsフォント、7セグフォント

【設定】

[ファイル]→[プロパティ]→[編集]→

[編集機種変更の自動リサイズ時、文字列のポイント数を比率計算する]のチェックを入れる

設定変更は次回起動時から有効となります。

プロパティ

ファイル情報 PLC情報 環境 編集 転送 エラーチェック

スクリーン、スクリーンライブラリ、オーバーラップライブラリの移動時、対象機能の自動変換

スイッチ・ランプ各行で異なる属性を使用

デフォルトを2D/パーツにする

3D/パーツの色情報を保存しない

入力先にデータブロック・メモカード・レシピアイテム・直接を表示する

編集機種変更の自動リサイズ時、文字列のポイント数を比率計算する

エ
デ
イ
タ

V-SFTを再起動後、画面データを開き編集機種の変更を行います。

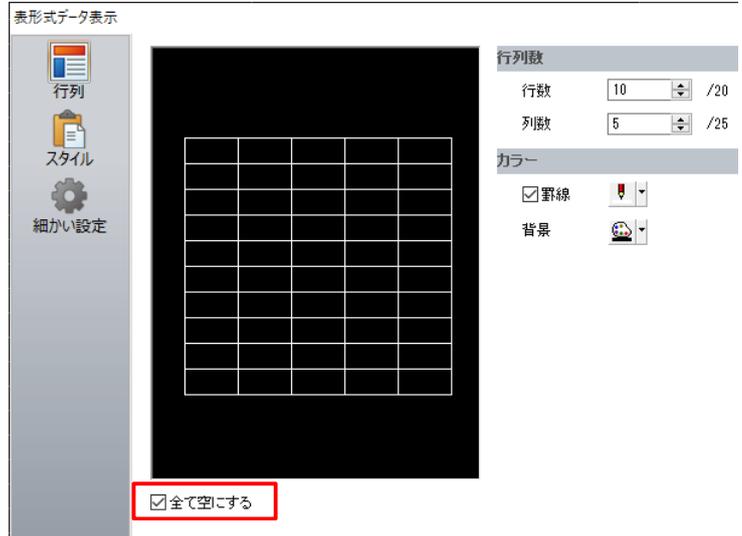
25. 表形式データ表示仕様追加

【概要】

表の罫線だけを作成するための設定を追加しました。

【設定】

[行列]メニューの[全て空にする]のチェックを入れます。



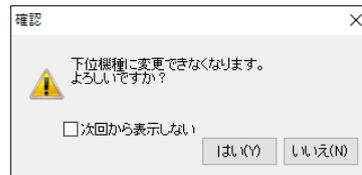
エ
デ
イ
タ

26. 確認画面の追加

対応機種: V9

【概要】

V9の画面データを新規作成する際に確認画面を表示します。

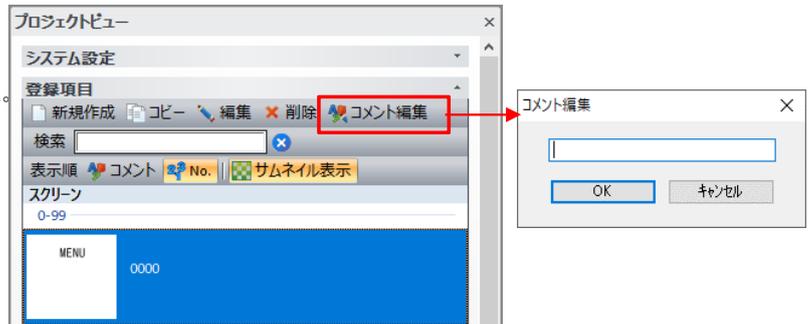


エ
デ
イ
タ

27. プロジェクトビュー仕様追加

【概要】

プロジェクトビューに[コメント編集]ボタンを追加しました。

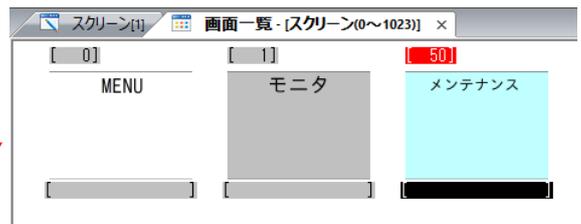
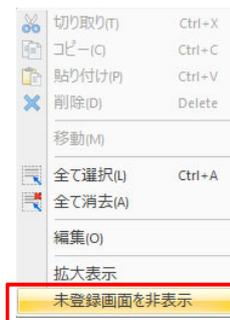


エ
デ
イ
タ

28. 画面一覧仕様追加

【概要】

画面一覧の右クリックメニューに
[未登録画面を非表示]を追加しました。



エ
デ
イ
タ

29. V-SFT-6 DVD

【概要】

作画ソフト V-SFT-6 のDVDに V-SFT-5のアップデート版を同梱します。

- * V-SFT-5はアップデート版のため、V-SFT-6または旧バージョンのV-SFT-5がインストールされたPCにインストールしてください。
- * V-SFT-5ヘルプメニューのPDFマニュアルはインストールされません。弊社HPからダウンロード、インストールしてください。

D
V
D

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.34.0		
本体プログラムバージョン	V9 : 2.000	TS2060 : 2.300	V8(N) : 2.280
OSバージョン	V9 : 3.80		

バージョンアップ内容

- | | |
|----|--|
| 接続 | 1. 接続可能機種追加 : 富士電機 ALPHA7
対応機種: V9/TS2060/V8(N)
接続機種: 富士電機 ALPHA7(MODBUS RTU) |
| 接続 | 2. 接続可能機種追加 : 三菱電機 QnH(A)シリーズCPU
対応機種: V9/TS2060/V8(N) * 接続可能ポート: CN1のみ
接続機種: 三菱電機 QnH(A)シリーズCPU |
| 接続 | 3. 接続可能機種追加 : Panasonic FP0H
対応機種: V9/TS2060/V8(N)
接続機種: FP Series (RS232C/422)/FP Series (UDP/IP)/FP Series (TCP/IP) |
| 接続 | 4. 接続機種仕様拡張 : Fatek Automation FACON FBシリーズ 立ち上がり/立ち下がりパルス対応
対応機種: V9/TS2060/V8(N)
接続機種: FATEK AUTOMATION FACON FBシリーズ
仕様拡張: 伝送形式: 単一コマンドに対応 |
| 機能 | 5. システムデバイス追加 LAN2/WLANのIPアドレス格納
対応機種: V9シリーズ

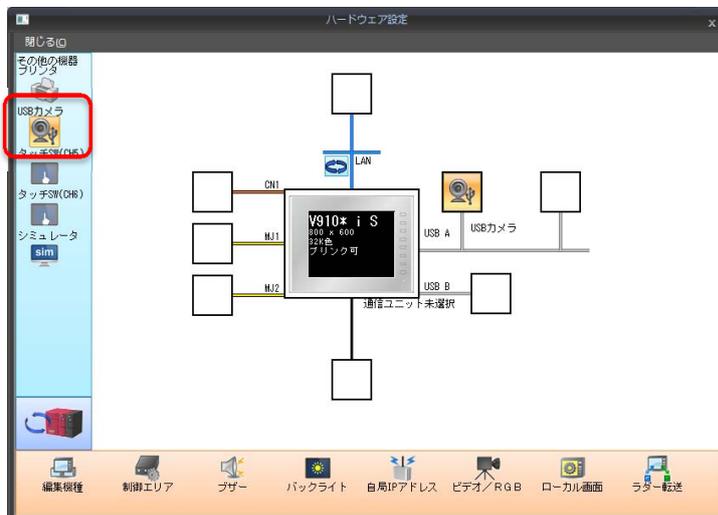
【概要】
LAN2/WLANの現在のIPアドレスを格納します。
LAN2: \$s1770~1773
WLAN: \$s1774~1777 |

- | | |
|----|---|
| 機能 | 6. USBカメラ
対応機種: V9 Advanced(アナログタッチスイッチモデル)/V9 Standard/V9 Lite 横置きのみ
カメラ仕様: USB2.0、UVC対応、対応解像度: 320×240/640×480
※接続には、外部供給電源付きのUSB HUBが必要です。カメラはUSB HUBのポート1に接続します。

【概要】
・USBカメラを接続して映像の表示が可能です。(リアルタイム表示)
・アラーム機能と連動して、アラーム発生直前/直後の映像を動画ファイル(*.mp4)に保存できます。(イベントレコード機能) |
|----|---|

■接続設定

[システム設定] → [ハードウェア設定] → [その他の機器] → [USBカメラ]



ポート1設定	
録画/表示設定	
出力ドライブ	ストレージ設定
カメラ解像度	320*240
タイムスタンプ	設定...
情報出力デバイスを使用	しない
アラーム設定	
イベントレコード機能を使用	する

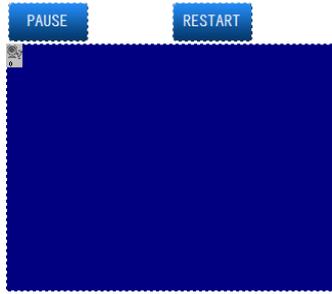
機能

■リアルタイム表示

USBカメラの映像を表示できます。

【設定箇所】

[パーツ]→[画像表示]→[USBカメラ表示]



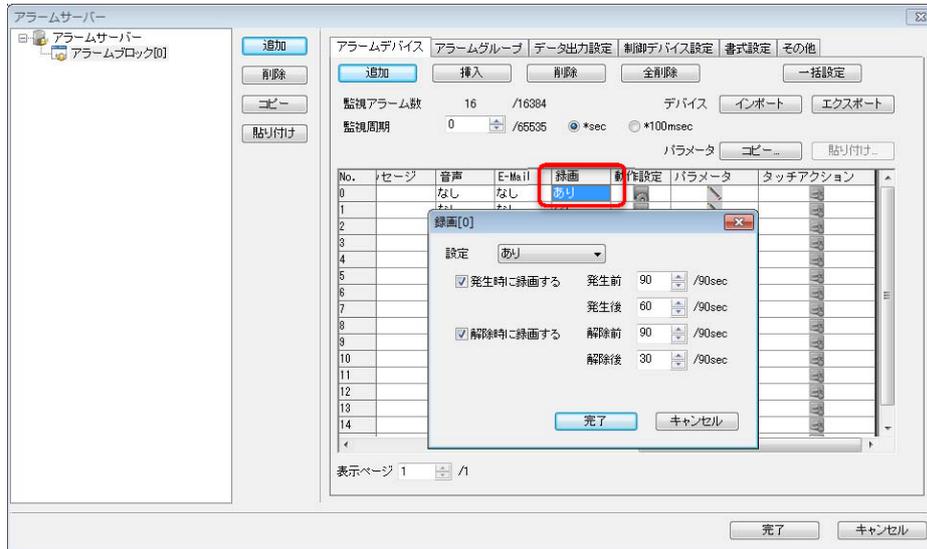
■イベントレコード機能

アラーム発生直前/直後の映像を動画ファイルに保存できます。(最大録画時間:180秒)

【設定箇所】

- [システム設定]→[ハードウェア設定]→[USBカメラプロパティ]→[イベントレコード機能を使用]を「する」に設定。
- [システム設定]→[アラームブロックNo. x]→[アラームデバイス]タブ→[録画:あり]に設定。
「発生時に録画する」/「解除時に録画する」のチェックを付け、録画時間を設定する。

例:アラーム発生前90秒/発生後60秒、アラーム解除前90秒/解除後30秒録画する場合



* アラーム機能について、詳しくは『V9リファレンスマニュアル 1』「8 アラーム」を参照。

タイムスタンプ付きの動画を保存することもできます。(設定箇所:[ハードウェア設定]→[USBカメラプロパティ])

* タイムスタンプ付きの場合、タイムスタンプと映像を合成する処理が発生するため、動画ファイルのフレームレートが低下します。

7. アラームサーバー msecを記録する

対応機種: V9シリーズ
対応機能: イベント履歴

【概要】

イベント履歴の時刻をmsec単位で記録します。
msec表示はイベント履歴の「タイム表示」パーツのみ対応。

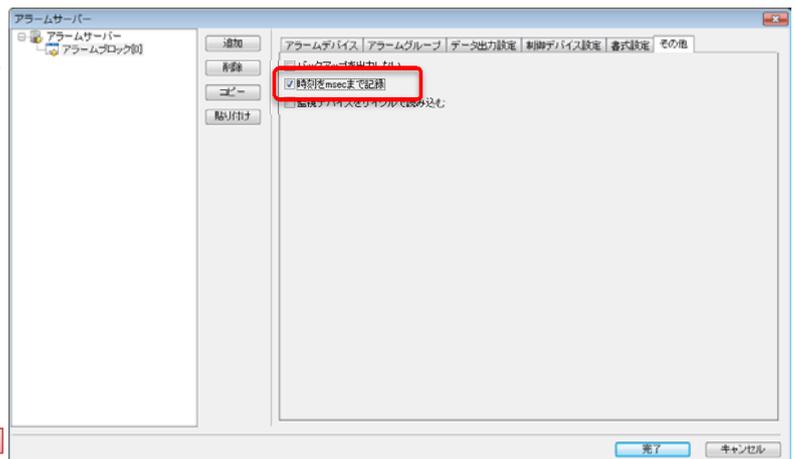
【設定箇所】

アラームサーバー
[システム設定]→[アラームブロックNo. x]→
[その他]タブ→[時刻をmsecまで記録]

イベント履歴パーツ

「機能:アラームタイム表示」の数値表示の桁数

8桁未満	: 非表示	
8~11桁	: 時分秒	
12~13桁	: 時分秒msec	NEW
14~17桁	: 月日時分秒	
18桁	: 月日時分秒msec	NEW
19~22桁	: 年月日時分秒	
23桁以上	: 年月日時分秒msec	NEW



8. レシピダイアログ 日時表示対応

対応機種：V9シリーズ

【概要】

レシピファイルの作成日時/更新日時を、V9のレシピアイテム上に表示できます。PCやストレージビューアを使用しなくてもよいので便利です。

【設定箇所】

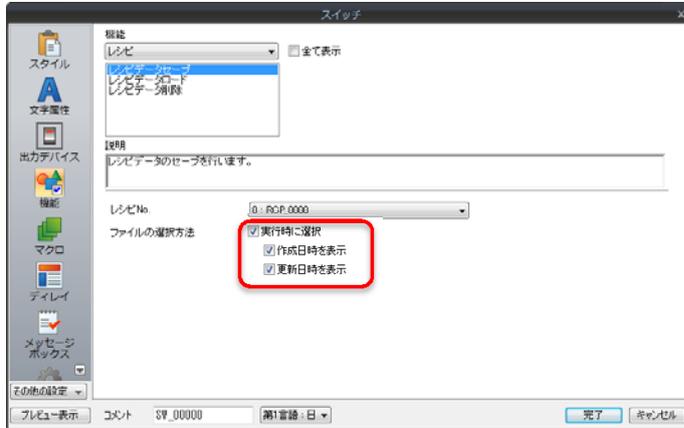
・レシピ設定

[システム設定]→[レシピ]→[レシピNo.x]→[基本動作タブ]→[ファイル単位で転送]

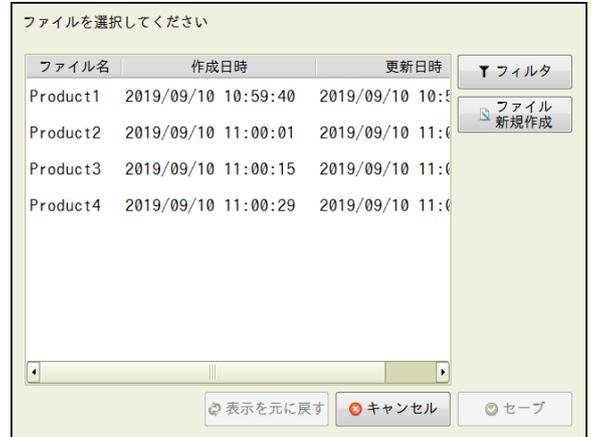
・スイッチ

機能：レシピデータセーブ/レシピデータロード/レシピデータ削除

[ファイルの選択方法]→[実行時に選択]→[作成日時を表示]/[更新日時を表示]にチェック



レシピダイアログ表示イメージ



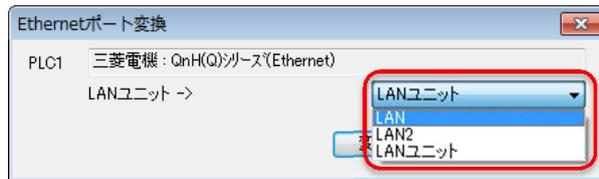
機能

9. V8→V9変換時のEthernetポート変換ダイアログ

対応機種：V9シリーズ

【概要】

Ethernetユニット(CU(N)-03-x)を使用したV8画面データをV9画面に変換する場合、V9の接続ポートを選択するダイアログを表示します。従来は、強制的にLANユニット(CUR-03)に変換されたので、LAN/LAN2を使用したい場合は、後から[ハードウェア設定]で変更する必要がありました。今からは、画面変換時に変更が可能です。



接続ポートはLAN/LAN2/LANユニット(CUR-03)から選択できます。

エディタ

10. テキストメニュー、ツールバー対応 (Ver.5スタイル)

【概要】

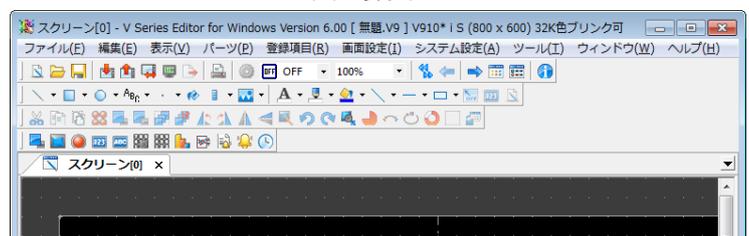
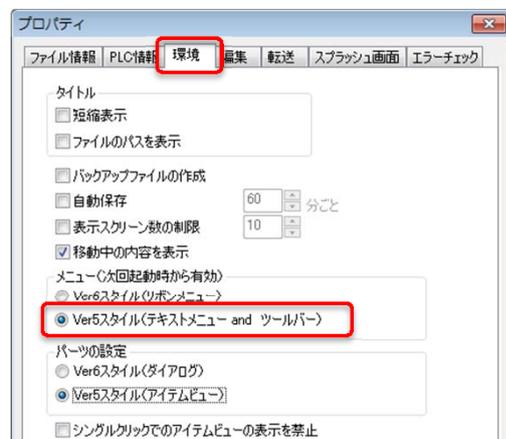
V-SFT Ver.5互換のテキストメニュー、ツールバーに対応しました。従来のメニュー表示に慣れていない場合に、便利です。

【設定箇所】

[ファイル]→[プロパティ]→[環境]→[メニュー(次回起動時から有効)]の[Ver.5スタイル(テキストメニュー and ツールバー)]を選択

* 設定を反映させるには、エディタの再起動が必要です。

Ver.5スタイル表示イメージ



エディタ

11. デバイス使用状況一覧のショートカットキーを追加

【概要】

デバイス使用状況一覧のショートカットキーを追加しました。

ショートカットキー：Ctrl + U

エディタ

12. レシピ 仕様追加

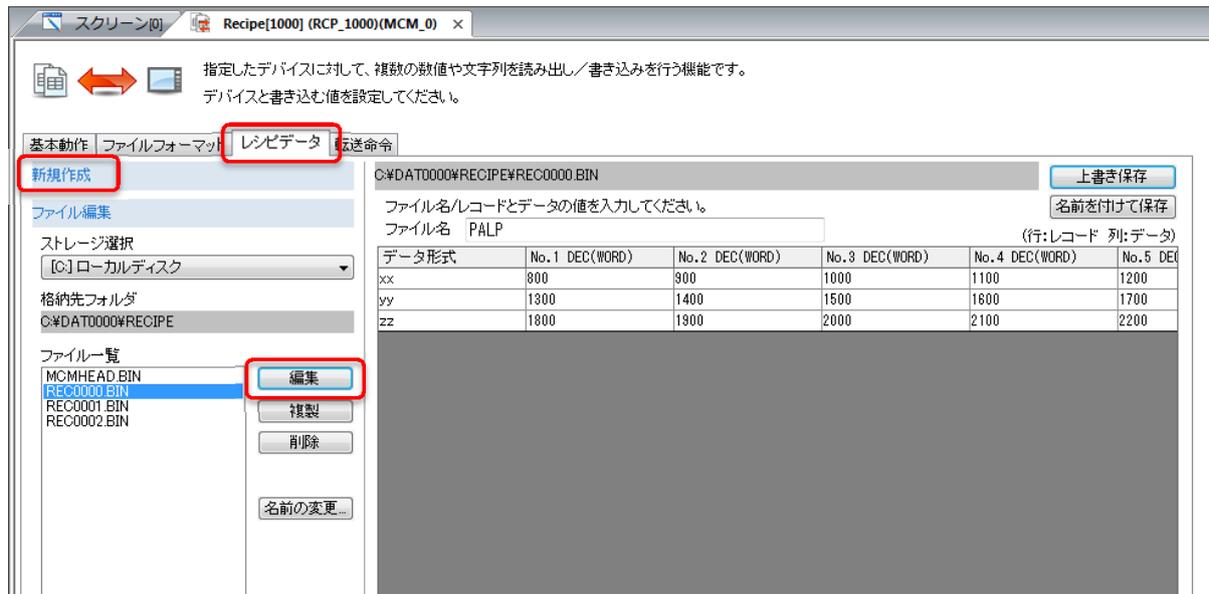
対応機種：V9シリーズ

【概要】

レシピ設定でメモ리카ードモード互換(V8互換機能)のレシピデータ(BINファイル)の新規作成、編集に対応しました。

【設定箇所】

[システム設定]→[レシピ]→[レシピNo.x]→[レシピデータ]タブ



エディタ

13. 印刷設定・リッチテキスト設定 仕様追加

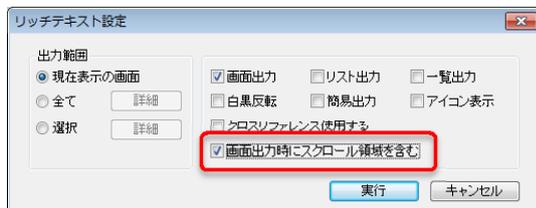
対応機種：V9シリーズ

【概要】

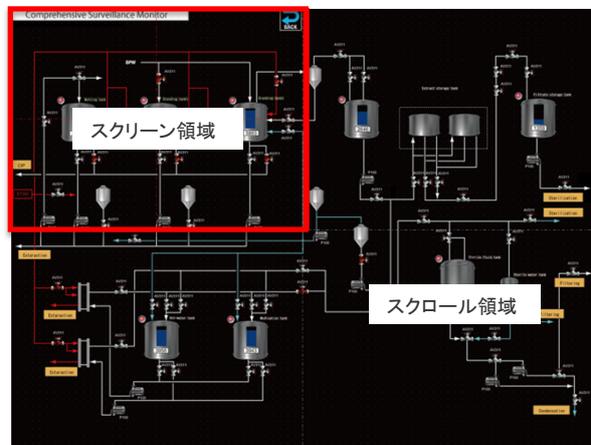
スクリーンやオーバーラップの画面サイズを等倍より大きく設定している場合、印刷設定・リッチテキスト設定の画面出力時にスクロール領域も出力する機能に対応しました。

【設定箇所】

- ・[ファイル]→[印刷]→[印刷設定]
- ・[ファイル]→[印刷プレビュー]
- ・[ツール]→[リッチテキスト形式に変換]



例: スクリーン 縦2倍×横2倍



エディタ

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.32.0		
本体プログラムバージョン	V9 : 1.900	TS2060 : 2.280	V8(N) : 2.280
OSバージョン	V9 : 3.50		

バージョンアップ内容

- | | |
|----|--|
| 接続 | 1. 接続可能機種追加 : オムロン E5CC/E5EC/E5AC/E5DC/E5GC
対応機種: V9/TS2060/V8(N)
接続機種: オムロン E5CC/E5EC/E5AC/E5DC/E5GC |
| 接続 | 2. 接続可能機種追加 : NITTOKU ITS-HRW110
対応機種: V9/TS2060/V8(N)
接続機種: NITTOKU ITS-HRW110 |
| 接続 | 3. 接続機種仕様拡張 : 安川電機 DX200(高速Ethernet) ファイル制御コマンド対応
対応機種: V9/TS2060i/V8i(N)
接続機種: 安川電機 DX200(高速Ethernet)
仕様拡張: マクロコマンド PLC_CTLを使って、ファイル制御コマンドの使用可 |
| 接続 | 4. 接続機種仕様拡張 : Modbusスレーブ(TCP/IP)のポートNo.の変更可
対応機種: V9/TS2060i/V8i(N)
接続機種: Modbusスレーブ(TCP/IP)
仕様拡張: 通信用ポートNo. 502固定から、1024~65535の範囲で変更可(デフォルト502) |

5. E-Mail送信機能の拡張

対応機種: V9シリーズ

例: Yahoo メールサーバ名

■メールサーバ名の指定

【概要】

直接メールサーバ(SMTP)名の設定が可能です。

【設定箇所】

[システム設定]→[Ethernet通信]→[E-Mail]



■アラーム機能

【概要】

アラーム発生時、E-Mailにファイルを添付することができます。(アラーム解除時はファイル添付不可)

【設定箇所】

- [システム設定]→[Ethernet通信]→[E-Mail]
- [システム設定]→[アラームブロックNo. x]→[アラームデバイス]タブ→[E-Mail:あり]→[発生時に送信する]のチェック→[指定したファイルを添付する]のチェック→[編集]ボタン

例: アラーム発生時、SDカードのLOGGINGフォルダ内にある最新のファイル(時刻が一番新しい)を添付してメール送信する

* アラーム機能について、詳しくは『V9リファレンスマニュアル 1』「8 アラーム」を参照。

■データ転送サービス機能

【概要】

データ転送サービス機能を使って、添付ファイル付きのE-Mail送信ができます。

【設定箇所】

1. [システム設定]→[Ethernet通信]→[E-Mail]
2. [システム設定]→[データ転送サービス]→[データ転送サービス設定]→[接続先サーバー一覧]にメールサーバを登録
3. [レコード一覧]に転送する条件、ファイルの設定

例: \$u1001-00ビット目がON時、SDカードのLOGGINGフォルダ内にある最新のファイル(時刻が一番新しい)を添付してメール送信する

* データ転送サービスについて
詳しくは『V9リファレンスマニュアル 2』「6 Ethernet」を参照。

6. WLAN(無線) ステルスモードのアクセスポイントへの接続対応

対応機種: V9シリーズ

【概要】

V9側の設定で、セキュリティの関係上、ステルスモードで運用しているアクセスポイントへの接続ができます。
接続許可したステルスモードのアクセスポイントは、ローカル画面→[WLAN設定]→[接続AP選択]の[周囲検索]ボタンにて、一覧表示されるようになります。

【必要な設定】

ローカル画面→[WLAN設定]

1. [無線設定]→[動作モード:ステーション]
2. [無線オプション]→[IPアドレス設定方法:手動]→
[ステルスモードのアクセスポイントへの接続を許可する]のチェック
3. [接続AP選択]→[周囲検索]→アクセスポイントを選択する

※接続後、次回電源投入時は自動で接続可能です

7. トランジション機能のマクロコマンド対応

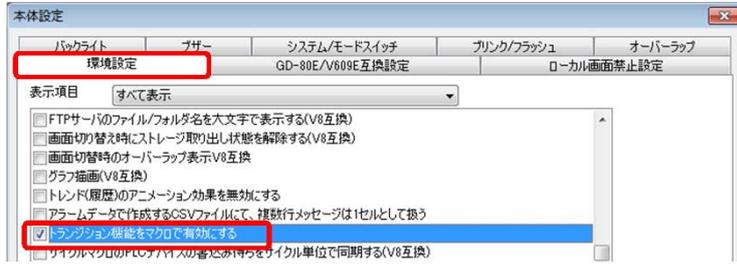
対応機種：V9シリーズ

【概要】

マクロコマンドSYS(SET_SCRN)(用途:スクリーン切替)、SYS(OVLP_SHOW)(用途:ノーマルオーバーラップ表示)、SYS(SET_MOVLVP)(用途:マルチ/グローバルオーバーラップ表示)実行時、トランジション機能(アニメーション効果)を付けられます。使用できるトランジション機能はスイッチ機能と同じです。

【必要な設定】

[システム設定]→[本体設定]→[環境設定]→[トランジション機能をマクロで有効にする]のチェック (デフォルト:チェックなし)



*トランジション機能について、詳しくは『V9リファレンスマニュアル 1』「3 スイッチ」を参照。

SYS(SET_SCRN)

	値																																														
F0	SET_SCRN																																														
F1	0~9999:スクリーンNo.																																														
F1+1	<p>タイプNo.</p> <p>0:スライドイン 1:スライドイン(フェード効果付き) 2:ボックスイン 3:ボックスイン(フェード効果付き) 4:フェードイン 5:スライドアウト 6:スライドアウト(フェード効果付き) 7:ボックスアウト</p> <p>8:ボックスアウト(フェード効果付き) 9:スライド A:スライド(フェード効果付き) B:スイッチ C:ジャンプ D:カードめくり E:ギャラリ*1 FFFF:トランジションなし</p> <p>スライドイン/スライドアウト/スライド/スイッチ/ジャンプ/カードめくり/ギャラリ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>MSB</th> <th colspan="12"></th> <th>LSB</th> </tr> <tr> <th>15</th><th>14</th><th>13</th><th>12</th><th>11</th><th>10</th><th>09</th><th>08</th><th>07</th><th>06</th><th>05</th><th>04</th><th>03</th><th>02</th><th>01</th><th>00</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="8">システム予約(0)</td> <td colspan="8">システム予約(0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>上位バイト 0:切替方向 右 1:切替方向 左 2:切替方向 上 3:切替方向 下 ※ジャンプ/カードめくりの場合 0:切替タイプ1 1:切替タイプ2 2:切替タイプ3 3:切替タイプ4</p> <p>下位バイト タイプNo.</p>	MSB													LSB	15	14	13	12	11	10	09	08	07	06	05	04	03	02	01	00	システム予約(0)								システム予約(0)							
MSB													LSB																																		
15	14	13	12	11	10	09	08	07	06	05	04	03	02	01	00																																
システム予約(0)								システム予約(0)																																							
F1+2	<p>切替時間(x100mSec)</p> <p>2~10:スライドイン/ボックスイン/フェードイン/スライドアウト/ボックスアウト/スライド 5~10:スイッチ/ジャンプ 3~10:カードめくり 5~20:ギャラリ</p>																																														

【動作例】

スクリーンNo.1切替時、スライドアウト切替方向 左の効果をつける
切替時間500mSec

\$M00000 = 1 (W)

NEW! \$M00001 = 105H (W)

NEW! \$M00002 = 5 (W)

SYS(SET_SCRN) \$M00000

*1 ギャラリは、切替方向 右/左のみ

SYS(OVLP_SHOW)

	値																																														
F0	OVLP_SHOW																																														
F1	0~9:オーバーラップID																																														
F1+1	0:OFF(非表示) 1:ON(表示)																																														
F1+2	<p>タイプNo.</p> <p>0:スライド(画面外から) 1:スライド(画面外から、フェード効果付き) 2:スライド(短距離、フェード効果付き)</p> <p>3:フェード FFFF:トランジションなし</p> <p>スライド(画面外から)/スライド(短距離)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>MSB</th> <th colspan="12"></th> <th>LSB</th> </tr> <tr> <th>15</th><th>14</th><th>13</th><th>12</th><th>11</th><th>10</th><th>09</th><th>08</th><th>07</th><th>06</th><th>05</th><th>04</th><th>03</th><th>02</th><th>01</th><th>00</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="8">システム予約(0)</td> <td colspan="8">システム予約(0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>上位バイト 0:切替方向 右 1:切替方向 左 2:切替方向 上 3:切替方向 下</p> <p>下位バイト タイプNo.</p>	MSB													LSB	15	14	13	12	11	10	09	08	07	06	05	04	03	02	01	00	システム予約(0)								システム予約(0)							
MSB													LSB																																		
15	14	13	12	11	10	09	08	07	06	05	04	03	02	01	00																																
システム予約(0)								システム予約(0)																																							
F1+3	<p>切替時間(x100mSec)</p> <p>2~10:スライド(画面外から) 2~5:スライド(短距離)/フェード</p>																																														

【動作例】

オーバーラップIDNo.0表示時、スライド(画面外から)切替方向 上の効果をつける
切替時間500mSec

\$M00000 = 0 (W)

\$M00001 = 1 (W)

NEW! \$M00002 = 200H (W)

NEW! \$M00003 = 5 (W)

SYS(OVLP_SHOW) \$M00000

SYS(SET_MOVLVP)

	値
F0	SET_MOVLVP
F1	0~9:オーバーラップID
F1+1	0~9999:オーバーラップライブラリNo.
F1+2	X座標
F1+3	Y座標
F1+4	上記SYS(OVLP_SHOW)のF1+2と同じ内容
F1+5	上記SYS(OVLP_SHOW)のF1+3と同じ内容

【動作例】

オーバーラップライブラリNo.12表示時、スライド(短距離、フェード効果付き)切替方向 左の効果をつける
切替時間500mSec

\$M00000 = 0 (W)

\$M00001 = 12 (W)

\$M00002 = 50 (W)

\$M00003 = 5 (W)

NEW! \$M00004 = 102H (W)

NEW! \$M00005 = 5 (W)

SYS(SET_MOVLVP) \$M00000

8. マクロコマンド「DEL_FILE」対応（指定したファイルの削除）

対応機種：V9/TS/V8シリーズ

【概要】

マクロコマンド「DEL_FILE」を使うことで、ストレージ内の指定したファイルを削除することができます。

	値	備考
F0	フルパス名	ドライブ名指定 C：内蔵SD カードドライブ D：USBに接続したメモリ

例：LISTフォルダ内のPDFファイルを全て削除

\$M00000 = 'C:%EXT0000%LIST%*.PDF' (STRING)
DEL_FILE \$M00000

* ファイル名、拡張子を*(アスタリスク)に指定すると、指定したフォルダ内の全てのファイルを削除します。



機能

9. スプラッシュ画面上にプログレスバーを表示しない

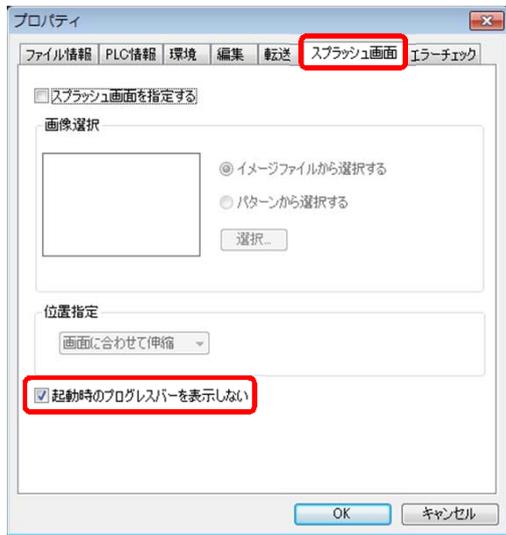
対応機種：V9シリーズ

【概要】

V9電源投入時、RUN/STOP切替時、スプラッシュ画面の下に表示するプログレスバーを非表示にできます。

【必要な設定】

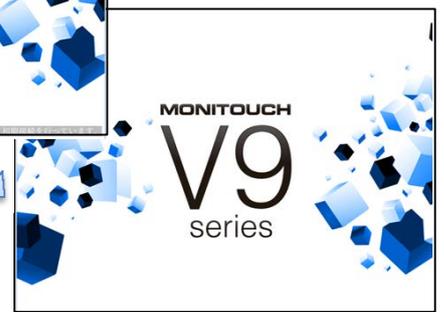
[ファイル]→[プロパティ]→[スプラッシュ画面]→[起動時のプログレスバーを表示しない]のチェック（デフォルト：チェックなし）



チェックなし(デフォルト)



チェックあり



機能

10. 新元号「令和」対応

対応機種：V9/TS/V8シリーズ

【概要】

2019/5/1からの新元号「令和」表示に対応します。

* システムのアップデートで、本体プログラムをバージョンアップしてください。

本体・エディタ

11. 多言語編集シートの改善

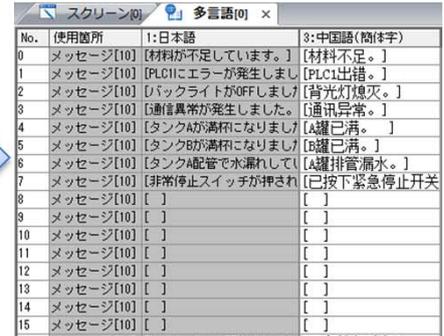
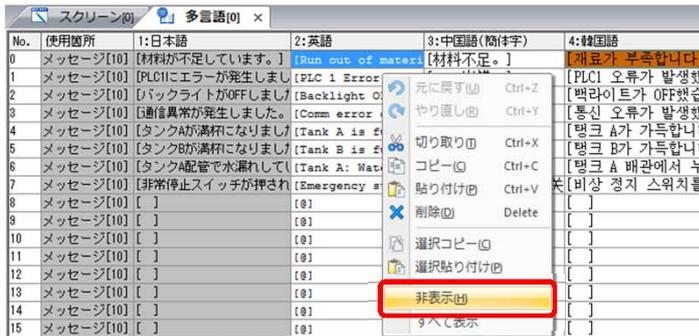
【概要】

[ホーム]→[登録項目]→[多言語]の多言語編集シートに「使用箇所」が表示され、ダブルクリックで使用箇所にジャンプすることができます。また、右クリックで選択した列を非表示にすることができるため、例えば「第1言語」と「第3言語」の列を横に並べて編集することも可能です。

【列の表示/非表示】

非表示にしたい列を選択（ShiftキーまたはCtrlキーを押しながら複数選択可）後、右クリックメニューの[非表示]をクリック（再表示させるには、[すべて表示]をクリック）

例：第2言語、第4言語を非表示にする



グレーの部分をダブルクリックすると、使用箇所にジャンプ

エディタ

12. エラーチェック(多言語画面)

【概要】

第2言語以降の文字列が未登録のアイテムがある場合、エラーチェックに警告(Warning)を表示します。未登録の箇所を検索がしやすくなります。

* 第1言語のみ未登録の場合は、警告ができません。

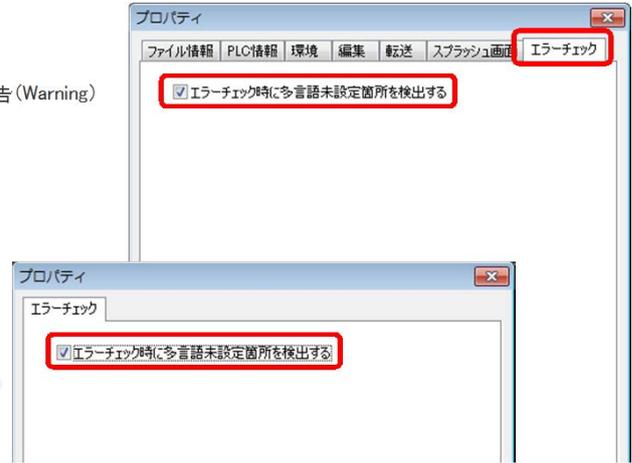
【設定箇所】

[ファイル]→[プロパティ]→[エラーチェック]

または

エラーチェック画面の[設定]アイコン

から、[エラーチェック時に多言語未設定箇所を検出する]のチェック(デフォルト:チェックなし)



エディタ

13. ガイドライン表示

【概要】

アイテムの位置合わせに便利なガイドライン表示をさらに使いやすく改善しました。

【ガイドラインの表示/非表示】

リボンメニュー→[表示]→[ガイドライン]のチェック

または

右クリックメニュー→[グリッド]→[ガイドライン]のチェック

【ガイドラインの設定】

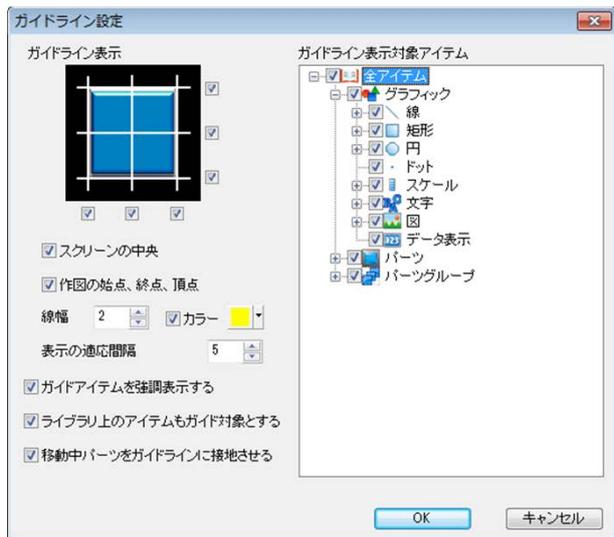
リボンメニュー→[表示]→[ガイドライン設定]

または

右クリックメニュー→[グリッド]→[ガイドライン設定]



または



エディタ

14. オムロン タグ設定のツリー表示

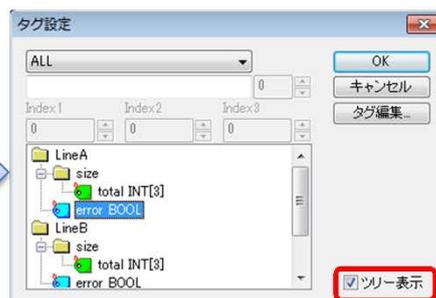
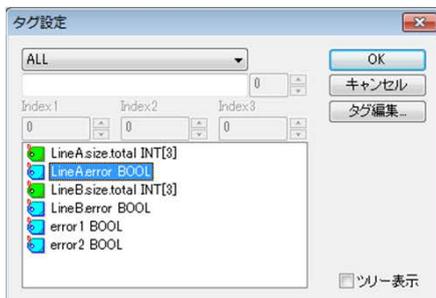
【概要】

オムロンのNX/NJシリーズ接続時に使用する[タグ設定]のダイアログをツリー表示に切り替えることができます。

構造体型/共用体型を登録している場合に、ツリー表示にすると見やすくなります。

対応PLC機種: オムロン NJ シリーズ(EtherNet/IP)

* タグやNJ/NXとの接続について
詳しくは『OMRON製NX/NJシリーズとの接続』参照



エディタ

15. 入力モードアイコンを[機能アイテムビュー]に表示

【概要】

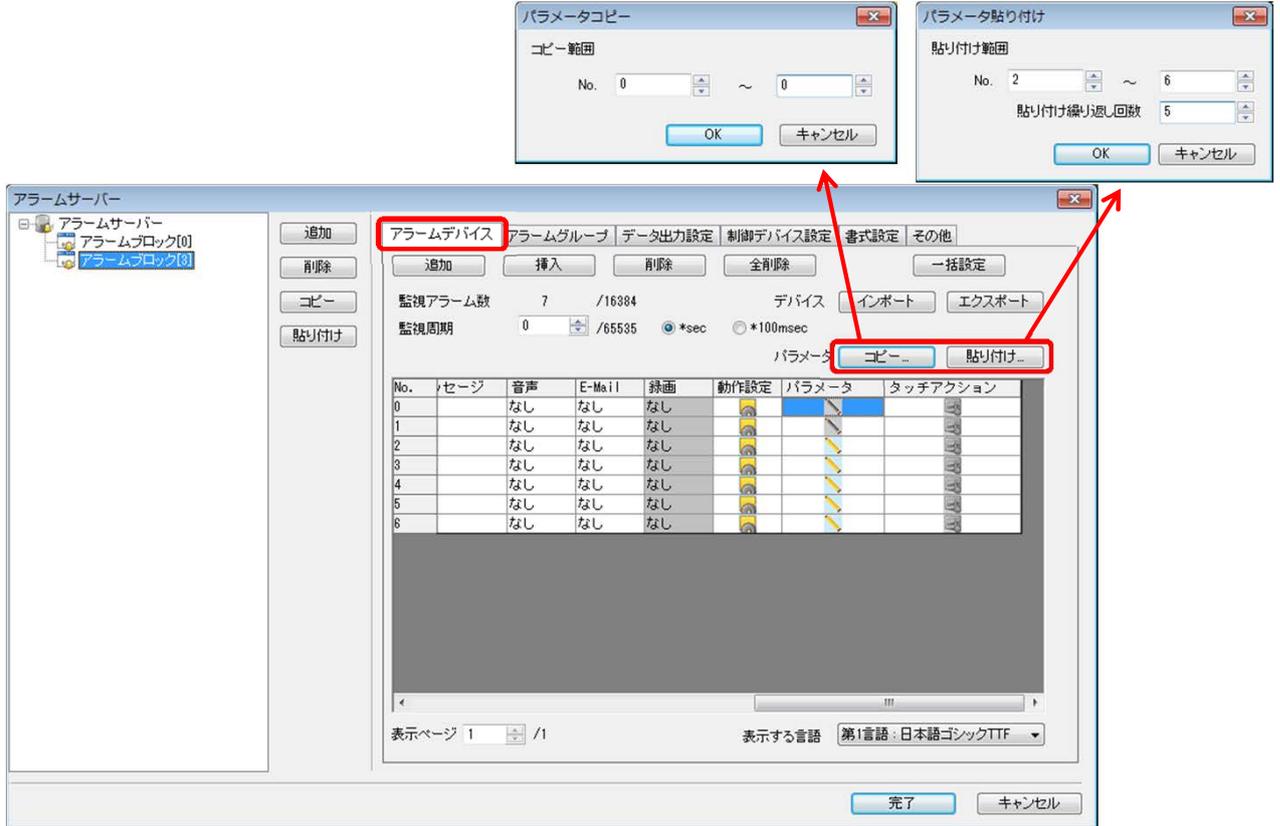
画面に入力モードアイコンが登録された場合、
[表示]→[機能アイテムビュー]にも表示されます。
[機能アイテムビュー]から設定変更、削除ができます。



16. アラームサーバ パラメータのコピー/貼り付け

【概要】

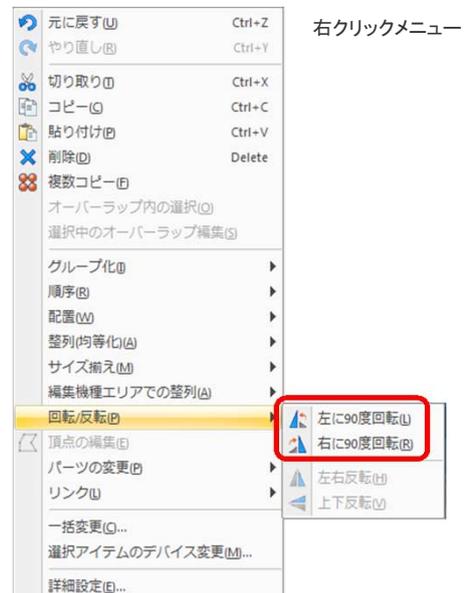
アラームサーバのパラメータ機能のコピー/貼り付けを使うことで、簡単に一括設定できます。



17. スイッチ/ランプパーツの回転対応

【概要】

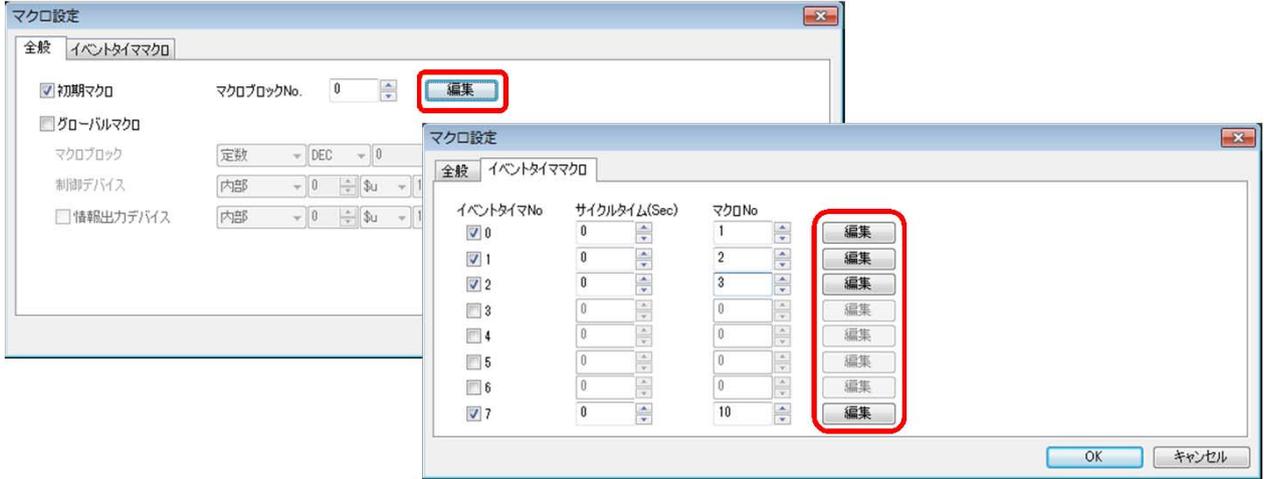
スイッチ、ランプすべてのパーツが「左へ90度回転」、「右へ90度回転」できます。



18. マクロ編集の改善

■初期マクロ、イベントタイママクロ設定からのマクロブロック編集

[システム設定]→[マクロ設定]→[初期マクロ]、[イベントタイママクロ]設定から指定したマクロブロックを開き、編集できます。



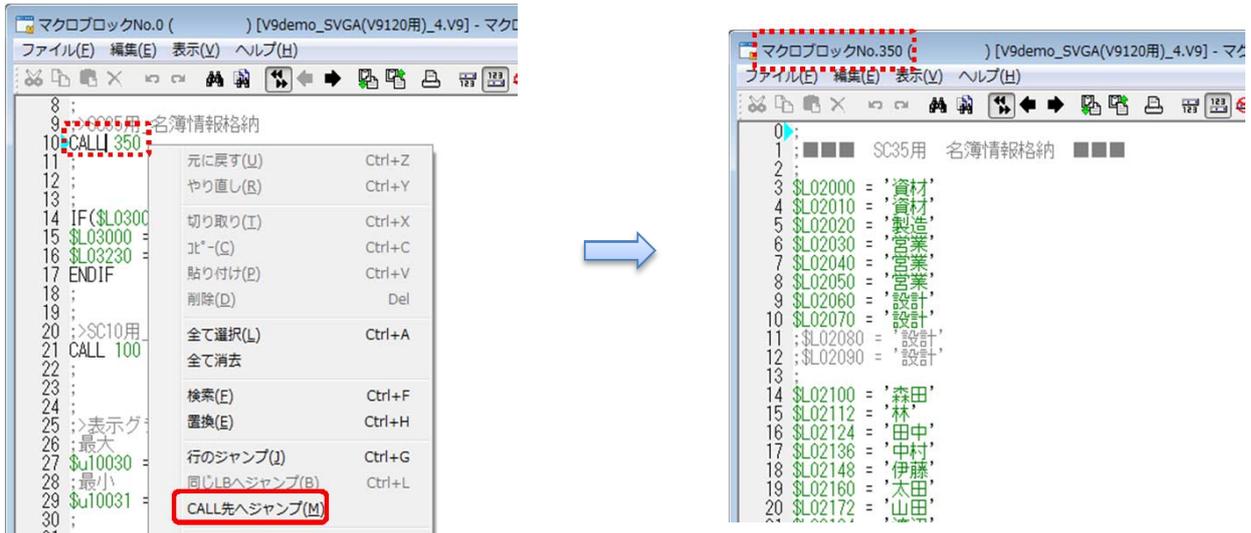
■CALL命令からのマクロブロック編集

CALL命令の行から、直接指定したマクロブロックを開いて編集、確認ができます。

【使用方法】

CALL命令の行にカーソルをあてて、右クリックメニュー→[CALL先へジャンプ]

※CALL命令にて、定数指定時のみ有効



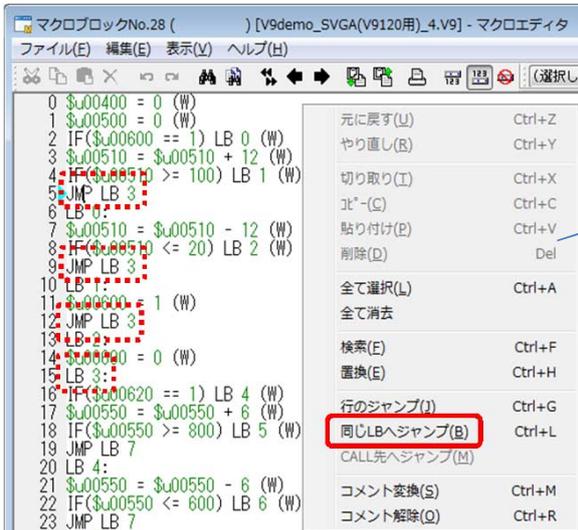
■ラベルの検索

同一マクロブロック編集上に、LB x: (ジャンプ元)またはJMP LBx(ジャンプ命令)が複数存在する場合に、同じ番号のラベルを簡単に検索できます。

【検索方法】2通り

1. LB x:またはJMP LBxの行にカーソルをあてて、右クリックメニュー→[同じLBへジャンプ](昇順↓)
2. ショートカットキー Ctrl+L(昇順↓)、Shift+Ctrl+L(降順↑)

例:ラベル3の検索



右クリックメニュー

昇順: 5行目→9行目→12行目→15行目→5行目...

降順: 5行目→15行目→12行目→9行目→5行目...

19. 一覧表示のCSV出力機能

【概要】

以下の一覧表示をCSVファイルでエクスポートすることができます。
Excelなどで閲覧が可能です。

■アイテム一覧

アイテム	座標	文字	デバイス	機能
ピクチャ	(48,444)-(705,148)			
ピクチャ	(48, 61)-(705,372)			
スクリーンライブラリ	(0, 0)			
スイッチ	(501,485)-(60, 60)		\$T00000-03	標準
スイッチ	(435,485)-(60, 60)		\$T00000-03	標準
スイッチ	(337,485)-(60, 60)		\$T00000-02	標準
スイッチ	(271,485)-(60, 60)		\$T00000-02	標準
テキスト	(278,476)	セット/リセット		
スイッチ	(75,485)-(60, 60)		\$T00000-00	標準

■エラーチェック

カテゴリ	場所	説明	対処方法
	マクロ設定 初期マクロ	未登録のマクロブロックを指定しています	マクロブロッ
	スクリーン[4] スイッチ	未登録のスクリーンを指定しています	スクリーン№
	スクリーン[4] スイッチ	未登録のスクリーンを指定しています	スクリーン№
	スクリーン[21] アラーム履歴	指定しているアラームブロックの設定がさ	アラームブ
	スクリーン[40] トレンドサンプリング	指定しているログインブロックの設定がさ	ログインブ
	スクリーン[60] スイッチ	未登録のスクリーンを指定しています	スクリーン№
	スクリーンライブラリ[5] スイッチ	未登録のスクリーンを指定しています	スクリーン№
	スクリーンライブラリ[5] スイッチ	未登録のスクリーンを指定しています	スクリーン№
	スクリーンライブラリ[5] スイッチ	未登録のスクリーンを指定しています	スクリーン№

■デバイス使用状況一覧 [表示]→[CSVエクスポート]

デバイス	使用箇所
PLC1 D00100-0	スクリーン[13] ノーマルオーバーラップ制御デバイス
PLC1 D00100-0	アラームブロック[0] No.0 エラー条件 デバイス
PLC1 D01000	スクリーン[60] 数値表示 デバイス

■変数名一覧 [変数名一覧]→[CSVエクスポート]

変数名	AT	データ形	コメント	状態	コバ
SW010	%MX1.2050.15	BOOL	センサ1 入力	非連携/未使用	済
LP000	%MX1.2049.0	BOOL	手動運転中	非連携/未使用	済
LP010	%MX3.0.0	BOOL	起動中	非連携/未使用	済
DATA000	%MW1.2050	INT	現在値 01カウン	非連携/未使用	済

例: 変数名一覧のCSVファイルイメージ

	A	B	C	
1	変数名	AT	データ形	コメント
2	SW010	%MX1.2050.15	BOOL	センサ1
3	LP000	%MX1.2049.0	BOOL	手動運転
4	LP010	%MX3.0.0	BOOL	起動中
5	DATA000	%MW1.2050	INT	現在値(
6	DATA001	%MD1.2052	DINT	自動運転
7	DATA010	%MW3.10	INT	ライン1
8	DATA011	%MD3.12	DINT	ライン1
9	グラフメモリ	%MW3.500	WORD	

20. クロスリファレンス機能拡張

【概要】

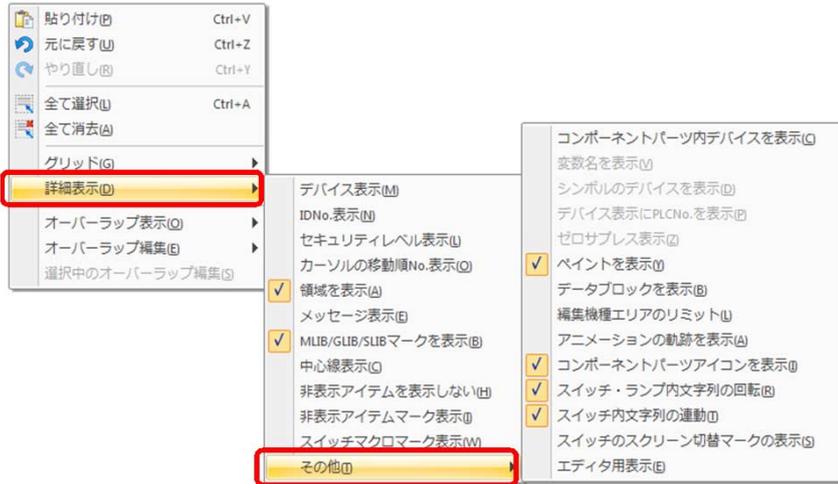
[ツール]→[検索]→[クロスリファレンス]にグラフィックライブラリ、パターンも対応しました。
グラフィックに関してはグラフィックモードやグラフィックリレー、グラフィックコール、
パターンに関してはスプラッシュ画面に設定したNo.なども含め、
画面上の使用箇所が簡単に把握できます。

No.	使用箇所
2	スクリーン[7] パターン
2	スクリーン[14] パターン
2	スクリーン[14] パターン
2	スクリーン[14] パターン
2	スクリーン[14] パターン

21. 右クリックメニューの[詳細表示]拡張

【概要】

今まで[表示環境設定]にあった設定項目は、右クリックメニューの[詳細表示]→[その他]からも設定できます。

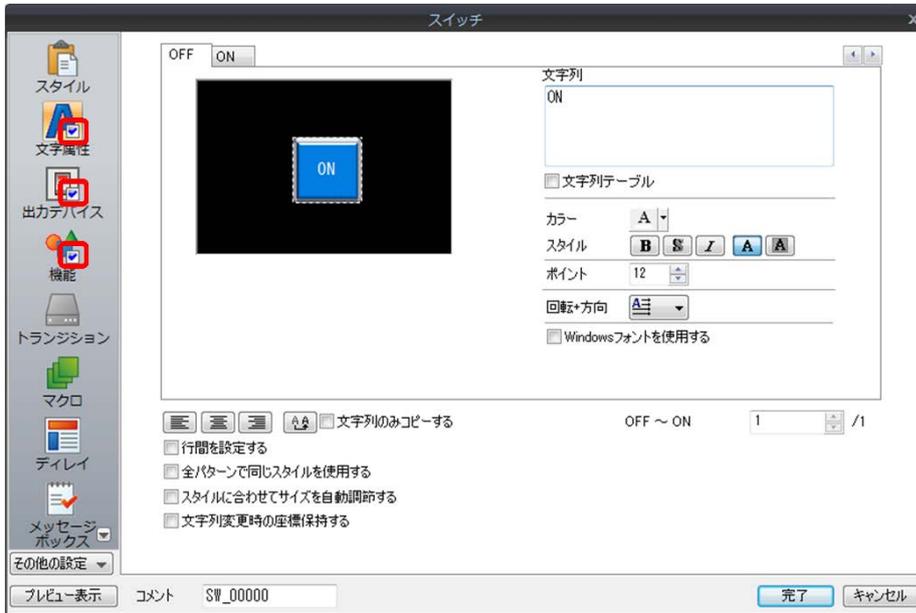


*画面上何もアイテムを選択していない時の右クリックメニューです。

22. 各アイテムダイアログの設定あり/なしの視認性向上

【概要】

各アイテムダイアログの左にある項目別メニューに、設定がある場合はレ点が付き、設定のあり/なしが一目で分かるようになりました。



23. オーバーラップ編集画面への切り替え

【概要】

オーバーラップを選択後、右クリックメニュー→[選択中のオーバーラップ編集]で簡単にオーバーラップ編集画面に切り替えられます。



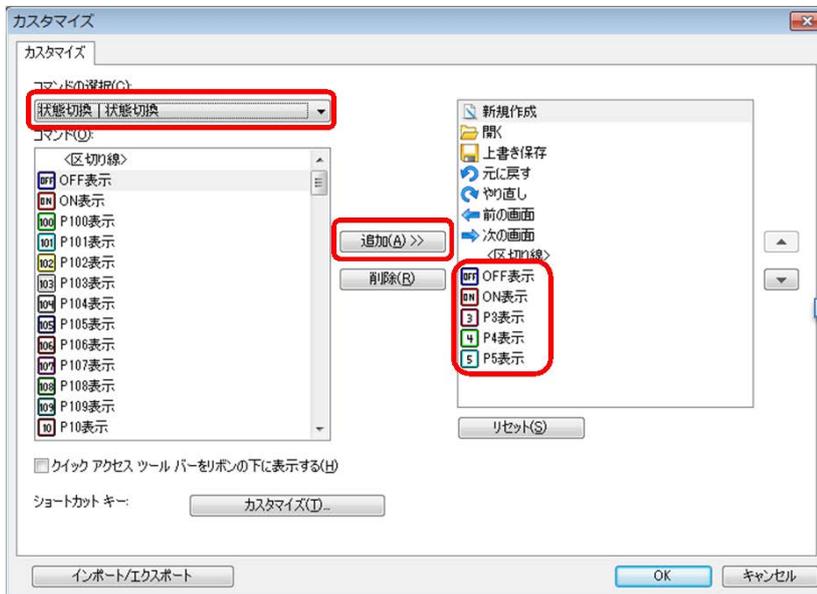
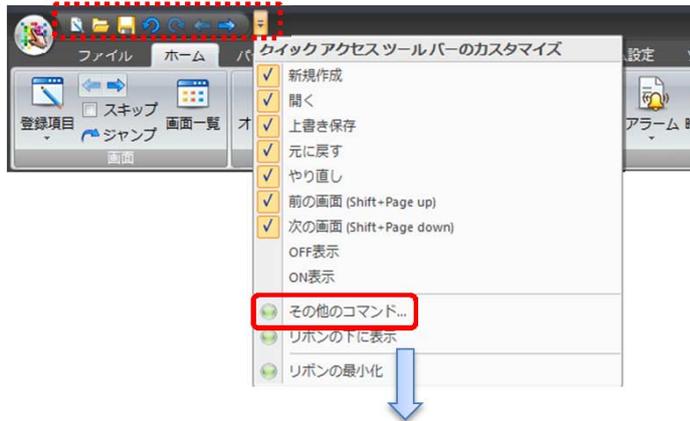
24. クイックアクセスツールバー スイッチ/ランプの状態切替アイコン追加

【概要】

クイックアクセスツールバーにスイッチ/ランプの状態を切り替えるアイコンが追加できます。

【設定箇所】

クイックアクセスツールバー右側の▼をクリック→[その他のコマンド]



クイックアクセスツールバーを使って
OFF~P5までの状態切り替えができる



エ
デ
イ
タ

25. [ファイルを開く]ダイアログ「全てのファイル」表示可

【概要】

画面データを開く際に、「全てのファイル」を表示することができます。
拡張子関係なく、全てのファイルが表示されます。

※[開く]ボタンについて

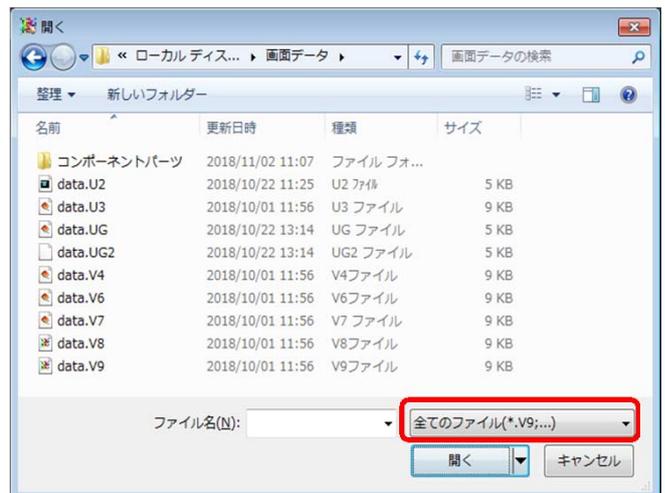
選択したファイルの拡張子によって、[開く]ボタンの
選択内容が変わります。

.V7/.V6/.V4/.80/.U3/.U2/.UG/.UG2の場合:[変換して開く]

.V8/.U4の場合:[開く]または[変換して開く] 選択可

.V9の場合:[開く]または[V8互換に変換して開く] 選択可

※V9ファイルを[V8互換に変換して開く] で開いた場合、[環境設定]のV8互換チェックが入り、V8仕様で動作します。



エ
デ
イ
タ

26. V9 ハードバージョンの変更

【概要】

V9の一部部品切り替えにより、V9のハードバージョンが「f」(本体裏のシリアルNo.で確認可)に変わります。

ハードバージョン「f」以降のV9本体は、OSバージョン3.50以降を使用します。

※OSバージョン3.50より古いバージョンにダウンはできません。

そ
の
他
(
OS
)

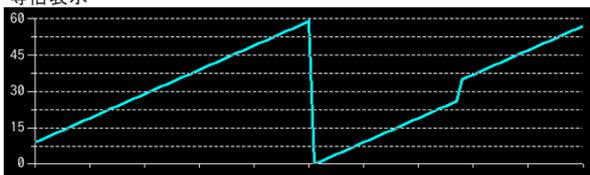
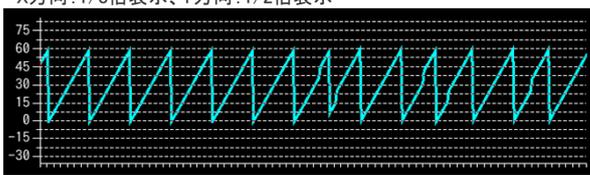
MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.30.0		
本体プログラムバージョン	V9 : 1.800	TS2060 : 2.270	V8(N) : 2.270
OSバージョン	V9 : 3.40		

バージョンアップ内容

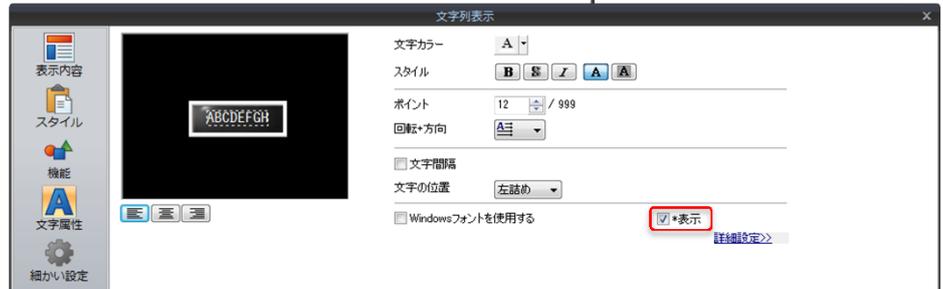
接続	1. 接続機種追加 : IDEC MICRO Smart (Ethernet TCP/IP) 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: IDEC MICRO Smart (Ethernet TCP/IP)
接続	2. 接続可能機種追加 : IDEC MICRO Smart FC6A 対応機種: V9/TS2060/V8(N) 接続機種: IDEC MICRO Smart
接続	3. 接続可能機種追加 : オムロン CJ2 Ethernet接続 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: オムロン SYSMAC CS1/CJ1/CJ2 (Ethernet) SYSMAC CS1/CJ1/CJ2 (Ethernet Auto) SYSMAC CS1/CJ1/CJ2 DNA (Ethernet)
接続	4. 接続機種仕様拡張 : オムロン NJシリーズ (EtherNet/IP) PLC8Way、複数局番対応 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: オムロン NJシリーズ (EtherNet/IP) 仕様拡張: PLC8Wayに対応 1:n接続時、局番ごとに異なるタグテーブルを使用可能
接続	5. 接続機種仕様拡張 : 富士電機 SPB (Nモード) & FLEX-PC CPU ラダー転送 対応機種: TS2060/V8(N) 接続機種: 富士電機 SPB (Nモード) & FLEX-PC CPU
機能	6. ロギング 拡大/縮小機能 対応機種: V9シリーズ 【概要】 ロギングのX方向の拡大(2倍→4倍→8倍)に加えて、X方向の縮小(1/2倍→1/4倍→1/8倍)と、Y方向の拡大(2倍→4倍→8倍)・縮小(1/2倍→1/4倍→1/8倍)ができます。
機能	【動作指令】 ・スイッチ機能: X方向拡大表示 ([拡大表示]から名称変更) X方向縮小表示 ([縮小表示]から名称変更) Y方向拡大表示 Y方向縮小表示 表示倍率リセット ・PLC指令 (0: 等倍、1: 2倍、2: 4倍、3: 8倍、4: 1/2倍、5: 1/4倍、6: 1/8倍) X方向デバイス Y方向デバイス
機能	等倍表示  → X方向: 1/8倍表示、Y方向: 1/2倍表示 
機能	7. \$uデバイス拡張 対応機種: V9シリーズ 【概要】 \$uデバイスの範囲を\$u0～\$u65535まで拡張します。

8. 数値表示/文字列表示 *(アスタリスク)表示機能

対応機種：V9/TS2060/V8(N)

【概要】

数値表示/文字列表示で、*(アスタリスク)表示ができます。
[*表示]にチェックするだけで、簡単にパスワード画面が作成できます。



機能

9. レシピ プログレスバー追加

対応機種：V9シリーズ

【概要】

レシピデータ選択ダイアログ(スイッチ機能:レシピデータロード/レシピデータセーブ/レシピデータ削除押下時に表示)と、フィルタ用ダイアログ(レシピデータ選択ダイアログ内[フィルタ]スイッチ押下時に表示)で、レシピファイル読み込み中にプログレスバーが表示されます。レコード数が多い場合に現在の読み込み状態が一目で把握できます。読み込みが完了すると、プログレスバーは非表示になります。

レシピデータ選択ダイアログ



フィルタ用ダイアログ



機能

10. スイッチ ストレージビューア表示機能

対応機種：V9シリーズ

【概要】

画面上に配置したスイッチ「機能:ストレージビューア表示」で、ストレージビューアを表示できます。
[SYSTEM]スイッチを禁止している場合でも、ストレージビューアの利用が可能になります。



ストレージビューア



機能

11. オムロン NJ/Allen-Bradley タグのインポート仕様追加

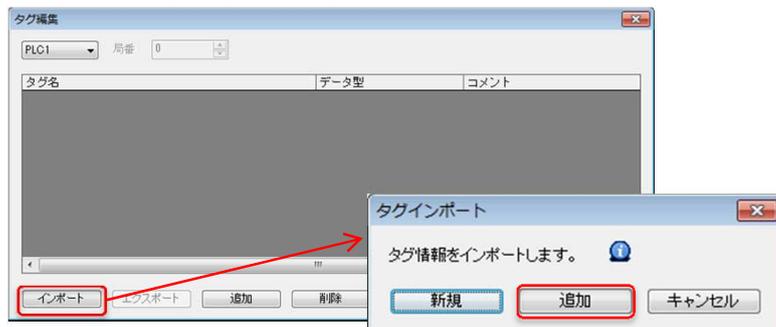
【概要】

タグインポート時、「追加」機能に対応します。

【対象】

オムロン NJシリーズ (EtherNet/IP)
Allen-Bradley ControlLogix/CompactLogix
Allen-Bradley ControlLogix(Ethernet)
Allen-Bradley Micro800 Controllers
Allen-Bradley Micro800 Controllers(Ethernet TCP/IP)

例)オムロン NJシリーズ (EtherNet/IP)



新規: 登録済みのタグ情報をクリアし、インポートデータのみで新規にタグ情報を構成。
追加: 登録済みのタグ情報に、インポートデータのタグを追加。

エ
デ
イ
タ

12. オムロン NJ タグのエクスポート対応

【概要】

タグの「エクスポート」機能に対応します。

【対象】

オムロン NJシリーズ (EtherNet/IP)



エ
デ
イ
タ

13. レシピ レシピ一覧対応

対応機種: V9シリーズ

【概要】

[システム設定]→[レシピ]→[レシピ一覧]で、登録しているレシピを一覧で表示できます。
使用中のレシピNo.を確認する際に便利です。

コメント	転送データ	ファイル形式	データ数	使用ワード数	RECxxxx.CSV/BIN
0 RCP_0000	レコード単位で転送	CSV	16	16	0
1 RCP_0001	ファイル単位で転送	CSV	5	5	0

エ
デ
イ
タ

14. 操作ログ アイテムコメントをデバイス表記に変換する機能追加

【概要】

操作ログで使用するアイテムコメントを、一括でデバイス表記に変換できます。

【必要な設定】

[システム設定]→[その他]→[操作ログ設定]で、ログ対象:[スイッチ]または[データ表示更新]にチェック

【対象アイテム】

- ・スイッチ : [出力デバイス]→[出力設定]あり、かつ[細かい設定]→[操作ログを保存する]にチェックあり
- ・数値表示 : [機能]→[入力対象]、かつ[細かい設定]→[操作ログを保存する]にチェックあり

【変換方法】

[ツール]→[その他]→[アイテムコメントをデバイス表記に変換]

操作ログビューア

動作	機能	コメント	表示形式	値(変更前)	
1	起動				
2	モード切替	RUN切替			
3	データ表示更新	数値	VM00100	DEC	200
4	スイッチ操作(Mom)		M000000		
5	モード切替	ローカル切替			

例: 数値表示



15. アイテムのダイアログ/ビュー表示切替

【概要】

アイテムのダイアログ表示をビュー表示に切り替えられます。V-SFT Ver. 6を使用しながら、V-SFT Ver. 5のような見た目、操作性が実現できます。

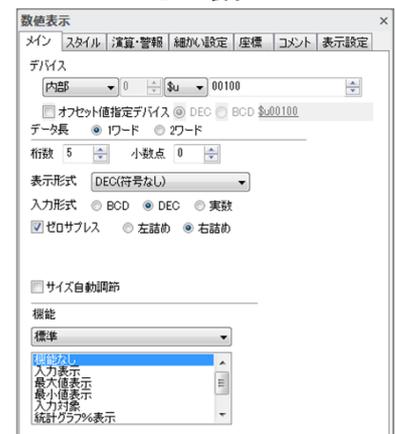
【必要な設定】

[ファイル]→[プロパティ]→[環境]→[パーツの設定: Ver5スタイル(アイテムビュー)]にチェック

ダイアログ表示



ビュー表示



16. スイッチ/ランプ ON/OFF表示状態の個別切替

【概要】

スイッチまたはランプをクリックして、選択中のアイテムのみON/OFF/状態切替(P3~P128)が行えます。

【必要な設定】

[ファイル]→[プロパティ]→[環境]→[スイッチ/ランプの表示状態を個別に切り換えられるようにする]にチェック



17. 多言語編集 使用箇所の表示/ジャンプ

エディタ

【概要】

多言語編集シート上で、第1言語のテキスト欄にカーソルをあてると、使用箇所が確認できます。またダブルクリックで使用箇所へジャンプできます。

No.	1:日本語	2:英語	3:中国語(簡体字)	4:韓国語
128	[STR_D_00001]	[STR_D_00001]	[STR_D_00001]	[STR_D_00001]
129	[(有) (有) (有)]	[(有) (有) (有)]	[(有) (有) (有)]	[(有) (有) (有)]
130	[DEC-小数点]	[DEC- w/ decimal point]	[DEC- 小数点]	[DEC- 소수점]
131	[DEC- 小数点]	[DEC- w/ decimal point]	[DEC- 小数点]	[DEC- 소수점]
132	[セット/リセット]	[Set/Reset]	[设定/复位]	[세트/리셋]
133	[オルタネート]	[Alternate]	[交替]	[대체]
134	[解除中] □□□□	[Resetting] □□□□	[解除中] □□□□	[해제 중] □□□□
135	[ロック中] □□□□	[Locking] □□□□	[锁定中] □□□□	[잠금] □□□□
136	[インターロック]	[Interlocking]	[互锁]	[인터락]

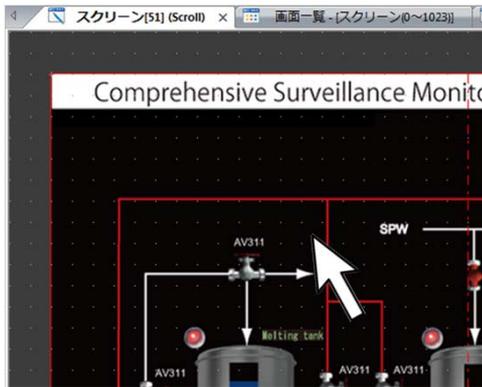
ダブルクリックすると、スクリーンNo.4に切り替わり、該当のマルチテキストが選択されます

18. スクリーン表示 Ctrlキー+ドラッグ移動

エディタ

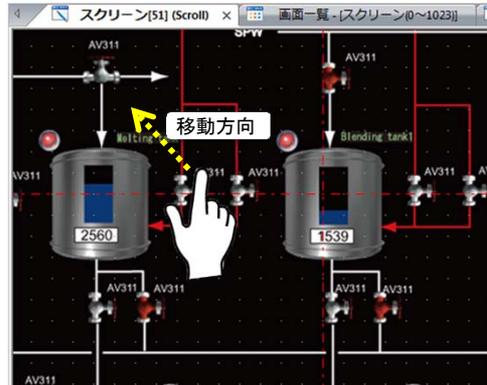
【概要】

スクリーン編集時、縦横のスクロールバーを使わずに、Ctrlキーを押しながらマウสดラッグすることでPDFのように自由に移動できます。移動中は、マウスカーソルが指マークになります。



Ctrlキーを押しながらマウสดラッグ

移動中



19. ガイドライン表示

エディタ

【概要】

アイテムの移動や拡大・縮小する際にガイドラインを表示できます。位置合わせやサイズ調整に便利です。

【必要な設定】

右クリックメニュー→[グリッド]→[ガイドライン]にチェック

* ガイドラインのカラーは[グリッド設定]の[グリッドカラー]で変更可能です。



ガイドライン
(例:黄色)

20. ステータスバー アイテムの座標表示と編集

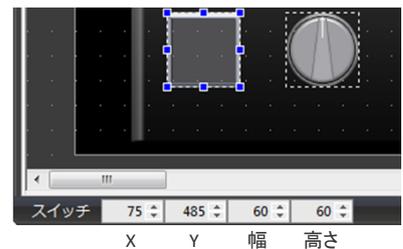
エディタ

【概要】

ステータスバー(左下)に選択したアイテムの座標やサイズを表示し、直接変更することが可能です。

【必要な設定】

[ファイル]→[プロパティ]→[環境]→[ステータスバーに選択中のアイテムの座標とサイズを表示]にチェック



21. 画面一覧の拡大表示

エディタ

【概要】

画面一覧の表示を拡大表示できます。この時、横に5個表示から横に2個表示に切り替わります。



右クリックメニューの[拡大表示]にチェック

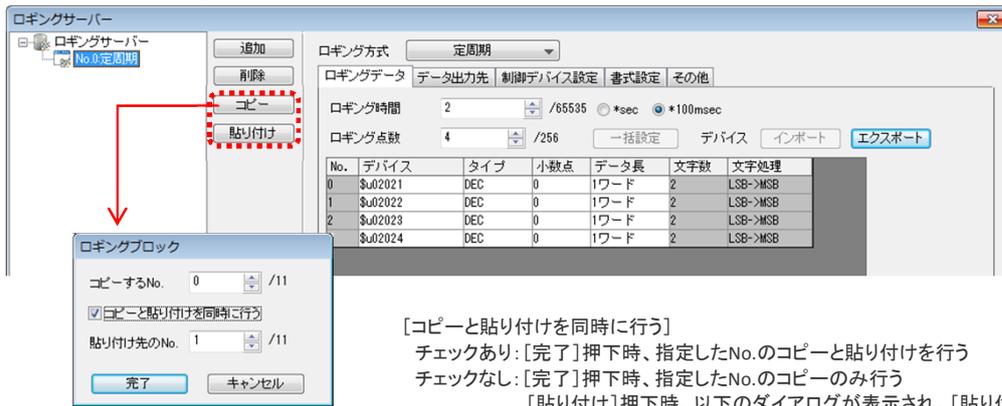


22. ログサーバー・アラームサーバー・バッファリングエリアのコピー機能

【概要】

ログサーバー・アラームサーバー・バッファリングエリアに設定した内容をコピーして、別のNo.や別のファイルに貼り付けることができます。

例: ログサーバーNo.0をNo.1にコピー

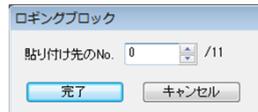


[コピーと貼り付けを同時に行う]

チェックあり: [完了] 押下時、指定したNo.のコピーと貼り付けを行う

チェックなし: [完了] 押下時、指定したNo.のコピーのみ行う

[貼り付け] 押下時、以下のダイアログが表示され、[貼り付け先のNo.]を指定



別のファイルへのコピー、貼り付けが可能

エディタ

23. スイッチマクロのコピー、切り取り、貼り付けボタン追加

【概要】

編集ウィンドウを開かずに、スイッチマクロのコピー、切り取り、貼り付けが簡単にできます。

* [ファイル]→[プロパティ]→[環境]→
[Ver. 6スタイル]選択時のみ



エディタ

24. リボンメニューに[ライブラリ]アイコンを追加

【概要】

[図形]アイコン内にあった[ライブラリ]が
リボンメニュー上に並びました。

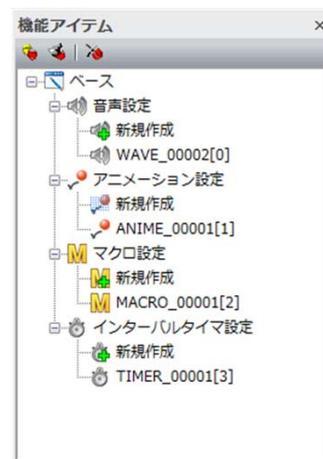


エディタ

25. 機能アイテムをスクリーン上にアイコン表示する

【概要】

機能アイテム(音声、アニメーション、マクロ、インターバルタイマ)を登録した場合、
スクリーン上のアイコンから確認ができるようになりました。



機能アイテムを登録した時に、スクリーン上にアイコンが表示されます。

エディタ

26. プロジェクトビューの表示状態を記憶する

【概要】

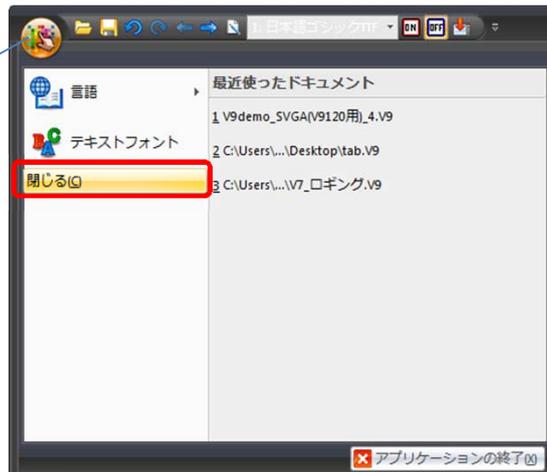
プロジェクトビューの各項目の表示・非表示状態を記憶し、次回起動時と同じ状態から編集できます。

27. アプリケーションメニューの[閉じる]で画面データを閉じる

【概要】

アプリケーションメニューの[閉じる]ボタンを使用して編集中の画面データを閉じることができます。

アプリケーションメニュー

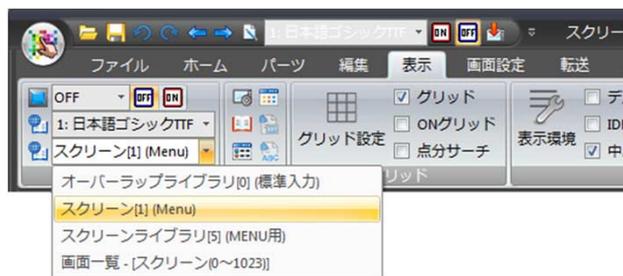


28. タブの改善

■タブ一覧の切り替え

【概要】

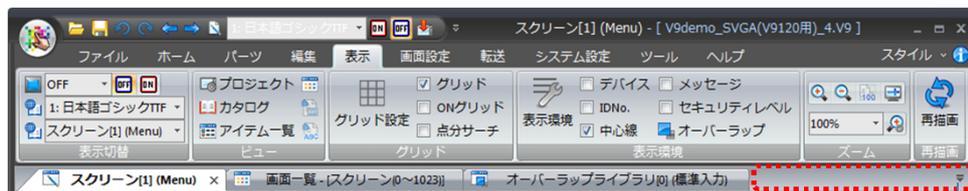
リボンメニューの[表示]にて、現在開いているタブの切り替えができます。



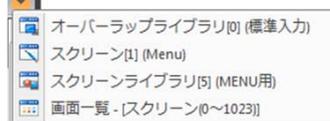
■タブのスクロールボタン追加

【概要】

タブが複数あり、隠れている場合、スクロールして切り替えることができます。



「一覧表示」ボタン押下時



タブバーの余白または「一覧表示」ボタン上で右クリックする



タブの先頭・最後に「左右」ボタンが表示され、スクロールできます。

■開いているタブを全て閉じた際に画面データを閉じる

【概要】

スクリーン以外のタブが開かれた状態であれば、スクリーンのタブを全て閉じた場合でも画面データは閉じないように改善しました。開いているタブを全て閉じた際に画面データを閉じます。

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.29.0		
本体プログラムバージョン	V9 : 1.750	TS2060 : 2.260	V8(N) : 2.260
OSバージョン	V9 : 3.30		

バージョンアップ内容

接続	1. 接続機種仕様拡張 : IDEC デバイスDの範囲拡張 対応機種 : V9/TS2060/V8(N) 接続機種 : MICRO3 MICRO Smart MICRO Smart pentra デバイス範囲 : D0~D59999まで
接続	2. 接続機種仕様拡張 : SAIA デバイスDB対応 対応機種 : V9/TS2060/V8(N) 接続機種 : PCD PCD S-BUS(Ethernet)
エディタ	3. シンボル Siemens TIA Portal Ver. 14 / Ver. 15対応 【概要】 SiemensのソフトTIA Portal(Ver. 14 / Ver. 15)で作成したTIA プロジェクトファイル(*.ap14、*.ap15)のインポートに対応します。

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.28.0		
本体プログラムバージョン	V9 : 1.720	TS2060 : 2.260	V8(N) : 2.260
OSバージョン	V9 : 3.30		

バージョンアップ内容

- | | |
|------|---|
| 機能 | <p>1. 接続機種追加 : 三菱電機 MR-J2S-*CL接続対応
 対応機種 : V9/TS2060/V8(N)
 接続機種 : 三菱電機 MR-J2S-*CL</p> |
| 機能 | <p>2. Panasonic製ネットワークカメラ 対応機種追加
 対応機種 : V9シリーズ
 カメラ機種 : BB-SW172A, BB-ST165A, BB-SP104W</p> |
| 機能 | <p>3. ローカル画面 RGB調整画面 変更
 対応機種 : V9シリーズ</p> <p>【概要】
 周波数の表示を変更します。</p> <p><変更前(本体プログラム:V1.600以前)>
 ・接続機器的実測値でなく、V9で表示可能な場合のみ周波数を表示
 ・V9で表示できない周波数は「0kHz/0Hz」で表示
 ・周波数は、調整した機器の周波数のみを表示
 (表示中の周波数が、設定1/設定2どちらの値か分かりにくい)</p> <p><変更後(本体プログラム:V1.700以降)>
 ・接続機器の周波数を実測値で表示
 ・V9で表示できない周波数は赤色で表示
 ・設定1と設定2それぞれの周波数を表示</p>  |
| エディタ | <p>4. 表示メニュー スイッチ・ランプ状態切替ボタン追加</p> <p>【概要】
 リボンメニューのOFF表示ボタン/ON表示ボタンで、スイッチ/ランプのOFF/ONの切替ができます。</p>  <p>クイックアクセスツールバーのカスタマイズで、OFF表示ボタン/ON表示ボタンを追加できます。
 * V-SFT-6を初めてインストールする場合は、自動的に追加されます。</p> |
| エディタ | <p>5. 画面データ一括転送(Ethernet)</p> <p>【概要】
 ネットワーク上の複数のモニタッチに、画面データを順次転送できます。
 * [システム設定]→[Ethernet通信]→[自局アドレス]→[IP設定を行う]のチェックはしないでください。
 チェックがあると、画面データを一括転送した本体が、同一IPアドレスとなります。</p> <p>[転送]→[通信設定]</p>  <p>[転送]→[書込]→[PC->]</p>  |

6. 接続機器選択ダイアログの改善

【概要】

- 以下2項目に対応します。
- ・メーカー一覧で「富士電機」を先頭にする
- ・新規作成時、前回選択した機種をデフォルトにする

7. シンボル 検索機能の追加

【概要】

[ツール]→[デバイス]→[シンボル]→[シンボル使用状況一覧]で、シンボルの検索ができます。



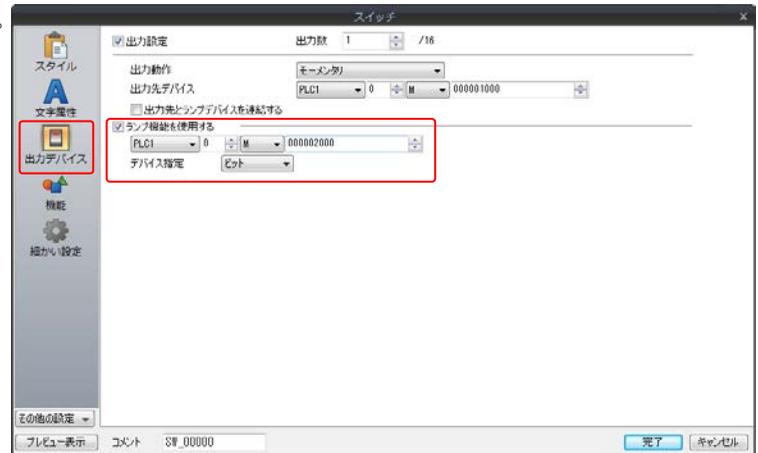
8. スイッチ 出力デバイスメニューにランプデバイスの設定を追加

【概要】

スイッチの出力デバイスメニューでランプデバイスの設定ができます。

スタイルメニューのランプデバイスと連動します。

* [出力先とランプデバイスを連結する]にチェックがある場合ランプデバイスは表示されません。



9. 複数コピー 仕様追加

【概要】

スイッチに[機能:スクリーン切替]の設定がある場合、複数コピー時に切替スクリーンをインクリメントできます。



10. 欧州ビットマップフォント ISOコード対応 (V8互換)

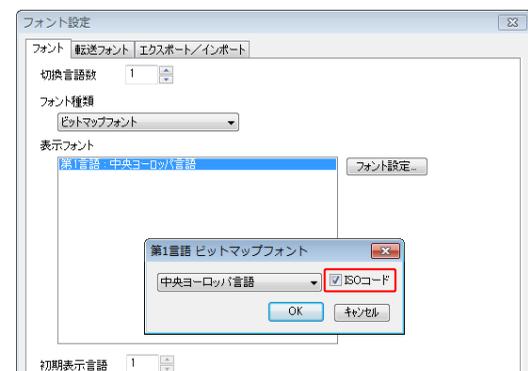
対応機種: V9シリーズ

【概要】

欧州ビットマップフォントのISOコードに対応します。

<ISOコード対応フォント>

- ・中央ヨーロッパ言語口
- ・キリル言語
- ・ギリシャ語
- ・トルコ語



MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.27.0		
本体プログラムバージョン	V9 : 1.600	TS2060 : 2.250	V8(N) : 2.220
OSバージョン	V9 : 3.10		

バージョンアップ内容

接続

1. 接続機種追加 : 汎用EtherCAT

対応機種 : V9シリーズ *通信ユニット「CUR-09」が必要
 接続機種 : その他 汎用EtherCAT

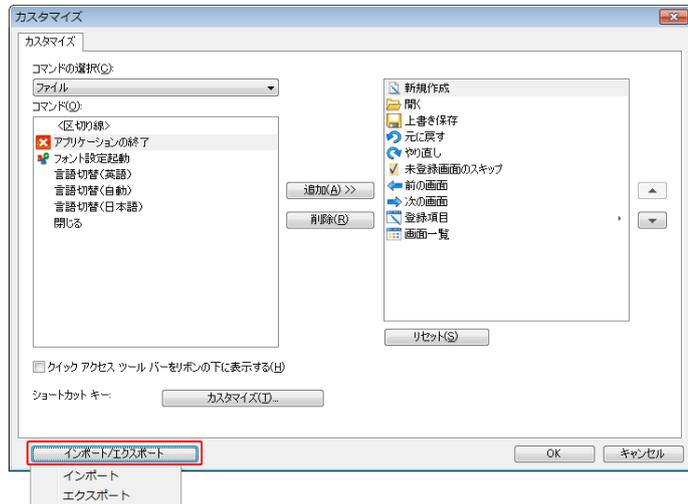
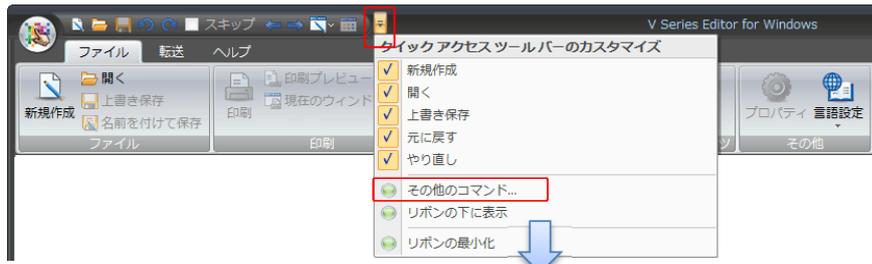
接続

2. 接続機種仕様拡張 : ラダー転送機能

対応機種 : V9シリーズ
 接続機種 : Telemecanique TSX Micro

3. クイックアクセスツールバーのエクスポート・インポート

【概要】
 カスタマイズしたクイックアクセスツールバーをエクスポート・インポートできます。
 拡張子 : *.binUI



エディタ

機能

4. V8互換機能

対応機種 : V9シリーズ

以下のV8互換機能に対応します。
 ・ストロークフォント

*OSのアップデートが必要です。

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.26.0		
本体プログラムバージョン	V9 : 1.550	TS2060 : 2.240	V8(N) : 2.220
OSバージョン	V9 : 3.00		

バージョンアップ内容

1. セキュリティ機能拡張

対応機種：V9シリーズ

【概要】

セキュリティレベルの条件設定において、「=」の設定に対応します。
また、最大5つまで条件追加(ANDまたはOR選択)できるようになります。

【設定箇所】

- ・スクリーンのセキュリティレベル
- ・各アイテムのセキュリティレベル
- ・スイッチ インターロックのセキュリティレベル

【設定例】

セキュリティレベル1または5で表示する



機能

2. レシピ機能拡張 1 追記

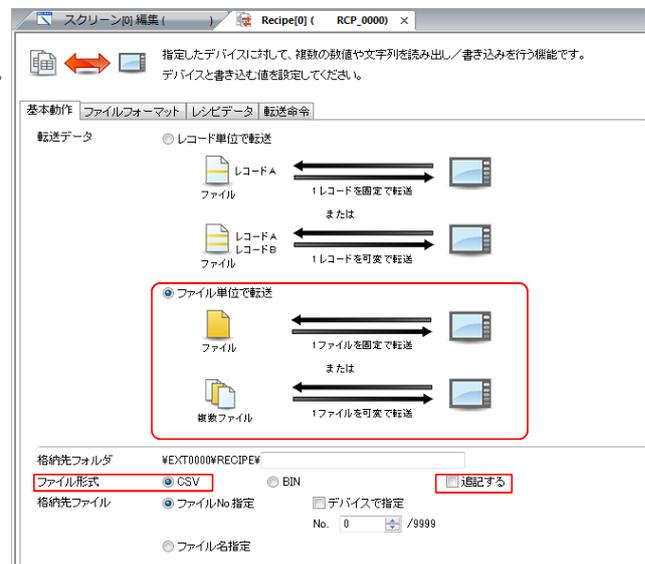
対応機種：V9シリーズ

【概要】

レシピ設定で以下の条件を満たすときに、[追記]動作を選択できます。
「PLC→本体」の転送実行時、CSVファイル内の最終行以降に追記します。
最大32767行

【条件】

- ・転送データ：ファイル単位で転送
- ・ファイル形式：CSV



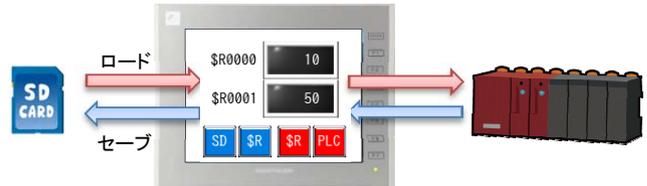
機能

3. レシピ機能拡張 2 \$R

対応機種：V9シリーズ

【概要】

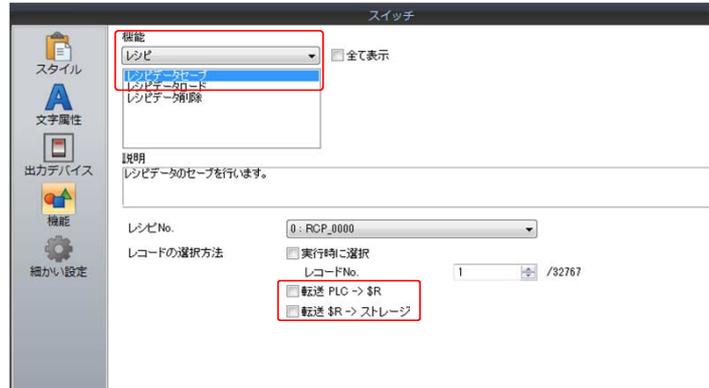
レシピデータ転送用の内部デバイス(\$R)を追加しました。65536ワード。スイッチ機能による転送実行時、前もって値の確認・修正ができます。



【設定手順】

1. [システム設定]→[レシピ]で「Recipe」設定を行います。
2. [システム設定]→[本体設定]→[環境設定]を開き、「レシピテンポラリデバイス\$Rを使用可能とする」を選択します。
3. [スイッチ機能:レシピデータセーブ/レシピデータロード]を選択します。
4. 転送先を選択します。
5. ストレージ/PLCデバイスへの転送前に、\$Rで値を確認します。

\$Rは全スクリーン共通エリアです。
RUN→STOP、電源OFFでクリアされます。



機能

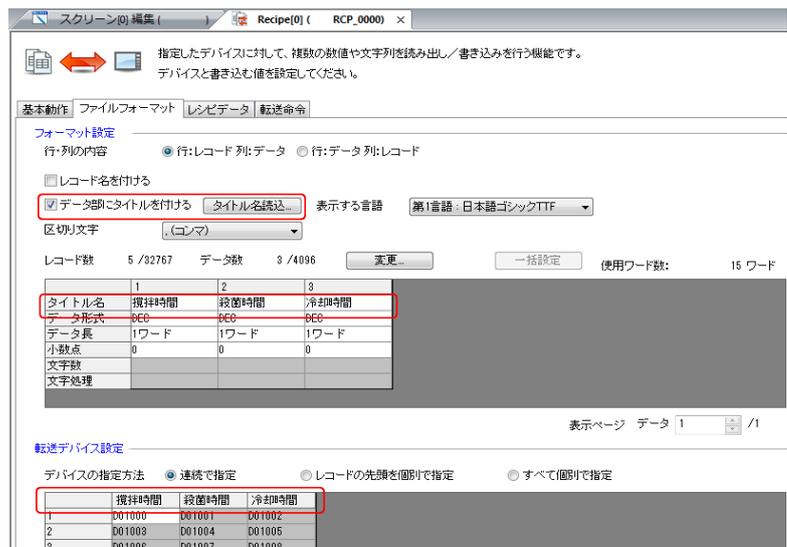
4. レシピ機能拡張 3 タイトル編集

対応機種：V9シリーズ

【概要】

[Recipe]設定の[ファイルフォーマット]で「データ部にタイトルを付ける」選択時、エディタ上でタイトルの登録ができるようになりました。V9本体で、新規のファイルを作成する際に便利です。

タイトルを登録したCSVファイルを用意しておけば、[タイトル名読込]ボタンから一括登録できます。



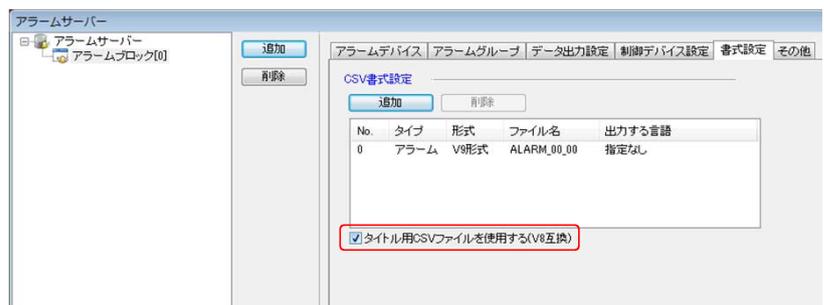
エディタ

5. V8互換機能

以下のV8互換機能に対応します。

- ・サンプリング CSVファイル (SMHxxxx.csv) のタイトル追加

ストレージ内の
ALARMフォルダまたはLOGGINGフォルダに
SMHxxxx.csvファイルを格納します。



機能

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.23.0
本体プログラムバージョン	V9 : 1.470 TS2060 : 2.230 V8(N) : 2.220
OSバージョン	V9 : 2.90

バージョンアップ内容

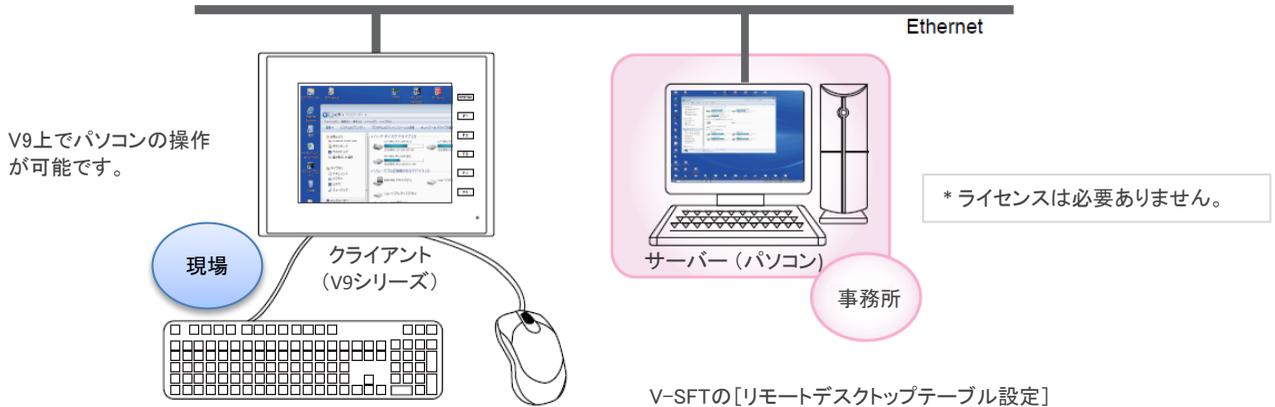
接続	1. 接続機種追加 : 安川電機 DX200(高速Ethernet)接続対応 対応機種 : V9/TS2060i/V8(N) 接続機種 : 安川電機 DX200(高速Ethernet)
	2. 接続機種追加 : 高圧ガス工業 R-BLT接続対応 対応機種 : V9/TS2060/V8(N) 接続機種 : 高圧ガス工業 R-BLT

7. V9シリーズ リモートデスクトップ対応

対応機種: V9シリーズ
ポート: LAN, LAN2, WLAN

【概要】

V9で遠隔にあるパソコン上の画面を表示することができます。
例えば、容易に出入りできないクリーンルームやライン全体を管理するサーバ(パソコン)と接続し、遠隔の現場から稼働状況の把握が行えます。
また、V9上からマウスやキーボードを利用して、パソコン上の画面を遠隔操作することも可能です。
パソコンを持ち込めない製造ラインでもV9上で容易にデータ作成やマニュアルの閲覧が可能になります。



V-SFTの[リモートデスクトップテーブル設定]

【必要な設定】

- ・サーバ(パソコン)の設定
UltraVNCのインストールと設定
- ・V-SFTの設定
[システム設定]→[その他]→
→[リモートデスクトップテーブル設定]

【表示方法】

- ・表示領域配置による表示
- ・スイッチによる表示/非表示
- ・マクロコマンドによる表示/非表示

* 詳しくは『V9リファレンスマニュアル[2]』を参照。



8. TS2060i VNCサーバ対応

対応機種: TS2060i
ポート: LAN

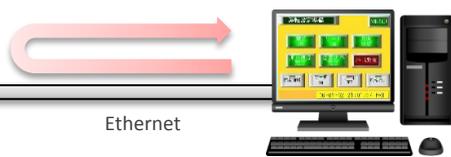
【概要】

TS2060iにVNCサーバ機能がサポートされます。そのため、ネットワーク上のクライアント(パソコン)から簡単にTS2060iの画面モニタ・遠隔操作ができます。モニタのみの設定もできます。

サーバ (TS2060i)



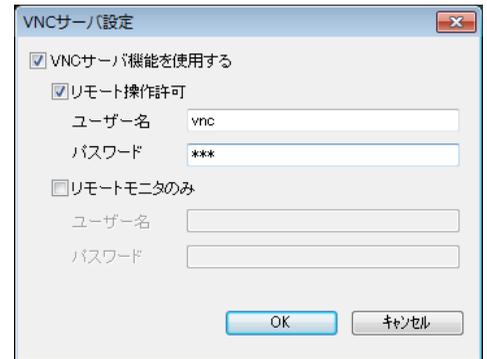
クライアント (パソコン)



* ライセンスは必要ありません。

【必要な設定】

- ・クライアント(パソコン)の設定
VNC Viewer (TightVNC, UltraVNC (V1.1.9.6))のインストールと設定
- ・V-SFTの設定
[システム設定]→[Ethernet通信]→[VNCサーバ]



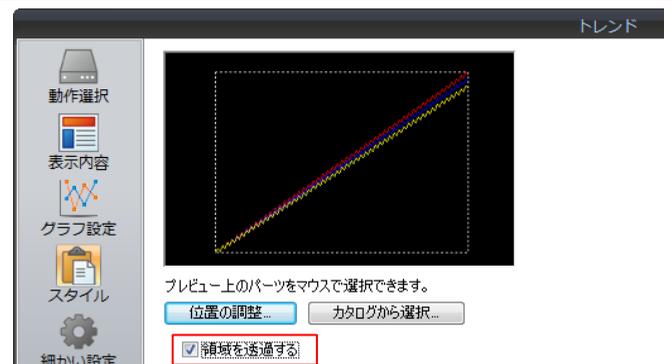
9. トレンド 領域透過

対応機種: V9シリーズ
対象: トレンド

- [動作選択]→「表示方法: グラフ表示」口
- [動作選択]→「表示モード: リアルタイム表示」口

【概要】

トレンドの表示領域を透過させることができます。
トレンドの履歴表示の上にリアルタイム表示を目安線として重ねて表示させる時に便利です。



プレビュー上のパーツをマウスで選択できます。

位置の調整... カタログから選択...

領域を透過する

10. アラームサーバー/ロギングサーバー CSVファイルのタイトル複数行対応

対応機種: V9シリーズ
対象: アラームサーバー/ロギングサーバー

【概要】

アラームサーバー/ロギングサーバーから出力したCSVファイルにタイトルとして、最大10行登録することができます。

CSVファイルのイメージ

	A	B	C	D	E	F	G
1	製造工程管理表	縦寸法	横寸法	消費電力			
2	ロギング時間	mm	mm	kW			
3	2017/4/7 15:24	110	207	32.5			
4	2017/4/7 15:24	111	209	33.5			
5	2017/4/7 15:24	118	206	32.5			
6	2017/4/7 15:24	119	207	33.5			
7	2017/4/7 15:24	120	208	34.5			
8	2017/4/7 15:24	115	209	35.5			

11. 流れるメッセージ(アラームサーバー) 複数行まとめて1行表示対応

対応機種: V9シリーズ
対象: 流れるメッセージ

【概要】

[アラームブロック]→[アラームデバイス]→[メッセージ行数]を2行以上に設定した場合、流れるメッセージは複数行まとめて1行で表示します。

* Windowsフォント使用時、1行目のみ表示します。

12. レシピ 個別デバイス設定

対応機種: V9シリーズ
対象: レシピ

【概要】

レシピの転送デバイスを1データずつ自由に指定できます。「ファイル単位で転送」、「レコード単位で転送」の両方共に設定可能です。

	1	2	3	4	5
データ形式	DEC	DEC	DEC	DEC	DEC
データ長	1ワード	1ワード	1ワード	1ワード	1ワード
小数点	0	0	0	0	0
文字数					
文字処理					

* 転送デバイスは「連続で指定」の方が、パフォーマンスは上ります。

13. PDFビューア 機能追加

対応機種: V9シリーズ
対象: PDFビューア

【概要】

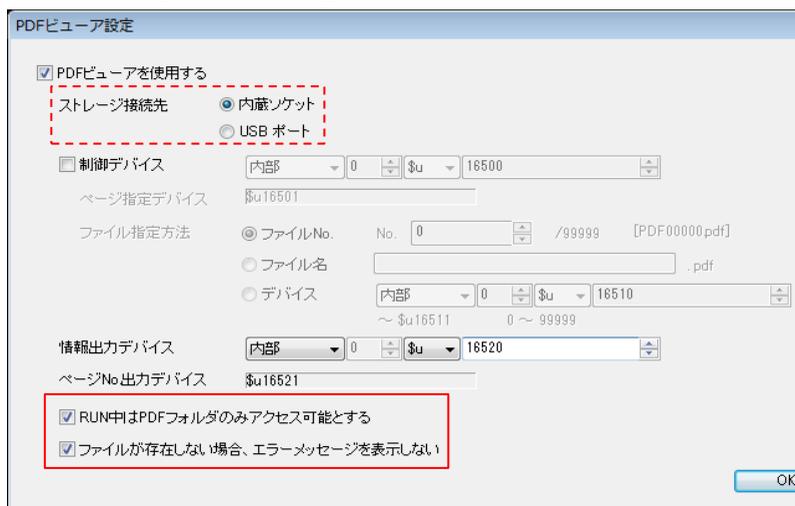
以下2項目の機能に対応します。

- ・[RUN中はPDFフォルダのみアクセス可能とする]
- ・[ファイルが存在しない場合、エラーメッセージを表示しない]

【必要な設定】

[システム設定]→[その他]→[PDFビューア設定]

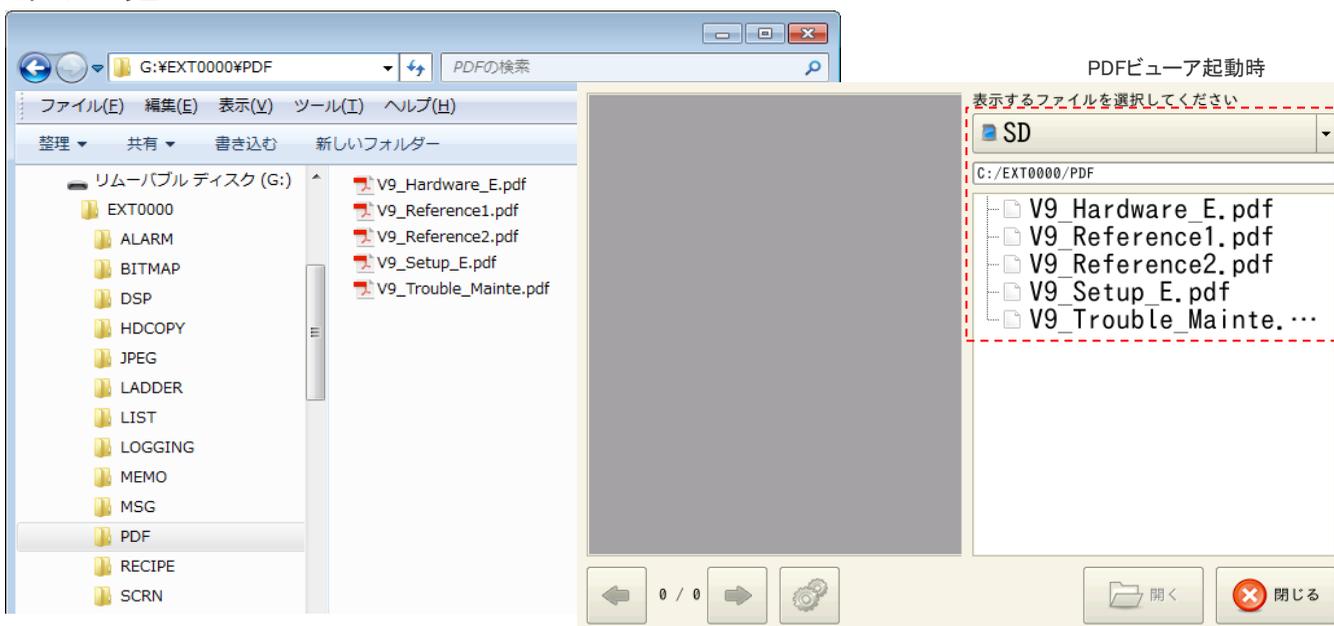
V-SFTの[PDFビューア設定]



【動作例1】 [RUN中はPDFフォルダのみアクセス可能とする]にチェックありの場合

RUN中のPDFビューア表示時、画面データで選択した [ストレージ接続先] の「アクセスフォルダ名 (デフォルト: EXT0000) ¥PDF」フォルダ内のみ表示します。(ローカル画面表示中は、ストレージの選択、他のフォルダ選択も可能です。)

エクスプローラ上



* SDカード内の「¥EXT0000¥PDF」フォルダ内のみ表示します。

【動作例2】 [ファイルが存在しない場合、エラーメッセージを表示しない]にチェックありの場合

例えば、スイッチを押して指定したPDFファイルを表示する際、ストレージ内に該当のPDFファイルが存在しない場合に以下のエラーメッセージを表示しないようにできます。この時、PDFビューアのみ表示します。

PDFビューア



チェックありで、PDFビューア起動時エラーメッセージを非表示にできます。

14. マクロコマンド SYS(RESTART) の仕様変更

対応機種: V9シリーズ

対象: マクロコマンド SYS(RESTART)

【概要】

マクロコマンド SYS(RESTART) 実行時、OSの再起動を する/しない を選択できます。
OSから再起動しない場合、V9の再起動時間が短くなります。

【動作例】

マクロ実行時、ローカル画面を表示後、10秒経過後口にV9が再起動します。

\$M00000 = 10 (W)

\$M00001 = 0 (W) ※OSから再起動しない

SYS (RESTART) \$M00000

SYS(RESTART)

範囲	値
F0	RESTART
F1	0~60: 時間 (Sec)
F1+1	1以外: OSから再起動しない 1 : OSから再起動する

NEW! →

【V9の画面表示】

F1+1= 1以外の場合: RUN画面⇒「リスタートします。しばらくお待ちください。」⇒ローカル画面 (F1で指定した時間) ⇒RUN画面

F1+1=1の場合 : RUN画面⇒「リスタートします。しばらくお待ちください。」⇒ローカル画面 (F1で指定した時間) ⇒真っ暗な画面⇒Data Loading...⇒スプラッシュ画面⇒RUN画面

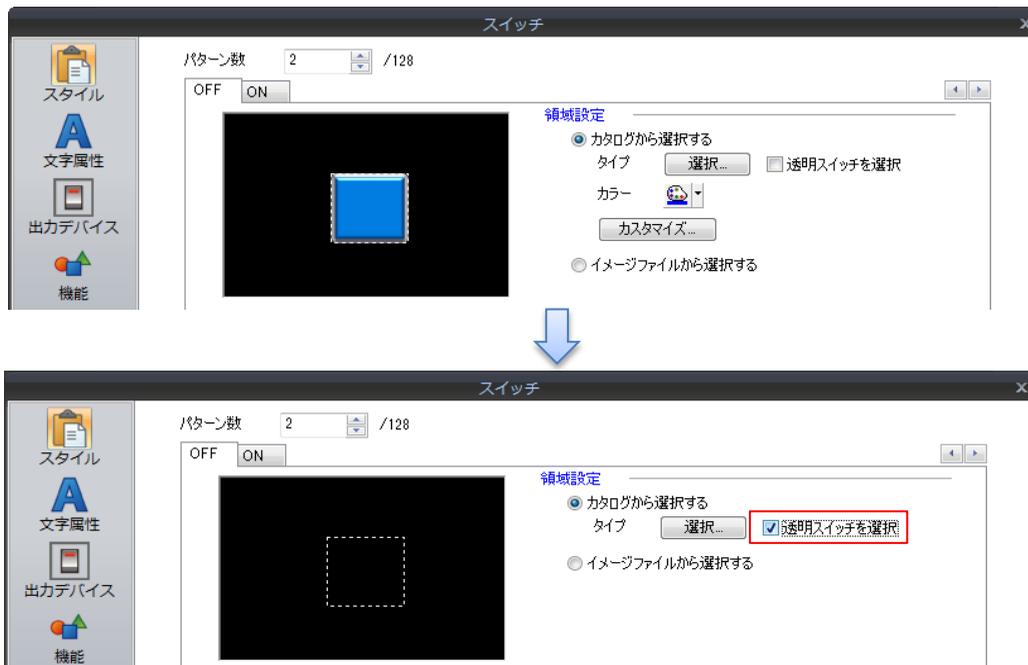
15. スイッチ 透明スイッチ選択

対応機種: 全て

対象: スイッチ

【概要】

スイッチのデザインを簡単に透明スイッチに変更できます。



MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.19.0		
本体プログラムバージョン	V9 : 1.300	V8 : 2.190	TS2060 : 2.190
OSバージョン	V9 : 2.60		

バージョンアップ内容

- | | |
|----|--|
| 接続 | 1. 接続機種追加 : オムロン NJシリーズ (EtherNet/IP)
対応機種: V9/V8i シリーズ/TS2060i
接続機種: オムロン NJシリーズ (EtherNet/IP) |
| 接続 | 2. 接続機種追加 : 安川電機 MP3000シリーズ
対応機種: V9/V8シリーズ/TS2060
接続機種: 安川電機 MP3000シリーズ |
| 接続 | 3. 接続機種追加 : DELTA DVP-SE (MODBUS ASCII)
対応機種: V9/V8シリーズ/TS2060
接続機種: DELTA DVP-SE (MODBUS ASCII) |
| 接続 | 4. 接続機種追加 : DELTA DVP-SE (MODBUS TCP/IP)
対応機種: V9/V8i シリーズ/TS2060i
接続機種: DELTA DVP-SE (MODBUS TCP/IP) |
| 機能 | 5. VPN機能 (リトライ、接続状態の確認 \$s1679)
対応機種: V9シリーズ
ポート: LAN、LAN2、WLAN |

【概要】

VPNの自動接続時にルータが立ち上がっておらずインターネット接続に失敗した際、接続が成功するまで設定した時間ごとにリトライを実行します。VPN接続後、VPNサーバとのリンク状態はシステムデバイス\$s1679で確認することができます。

例: リトライを5分ごとに実行する

VPNサーバとのリンク状態の確認

\$s1679

- 0: VPN未使用
- 1: VPNサーバとリンク可能
- 1: VPNサーバとリンク不可

* VPN設定メニューにて、[監視機能を使用する]にチェックがある場合にのみ、状態が出力されます。

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.15.0	
本体プログラムバージョン	V9 : 1.210	V8 : 2.150
OSバージョン	V9 : 2.40	

バージョンアップ内容

接続	1. 接続機種追加 : キーエンス KZ24/300 CPU 対応機種: V9/V8シリーズ 接続機種: キーエンス KZ24/300 CPU
接続	2. 接続機種追加 : 安川電機 MP3000シリーズ(Ethernet UDP/IP) 対応機種: V9/V8i シリーズ 接続機種: 安川電機 MP3000シリーズ(Ethernet UDP/IP)
接続	3. 接続機種追加 : 富士電機 FRENICシリーズ(ローダ) 対応機種: V9/V8シリーズ 接続機種: 富士電機 FRENICシリーズ(ローダ)
接続	4. 接続機種仕様拡張 : 富士電機 FRENICシリーズ(ローダ) ラダー転送 対応機種: V9/V8シリーズ 接続機種: 富士電機 FRENICシリーズ(ローダ)
接続	5. 接続型式追加 : 富士電機 FRNx C2x-xx 対応機種: V9/V8シリーズ 接続機種: 富士電機 FRENIC-Mini(MODBUS RTU)
接続	6. 接続機種追加 : A&D AD4402(MODBUS RTU) 対応機種: V9/V8シリーズ 接続機種: A&D AD4402(MODBUS RTU)
接続	7. 接続機種追加 : A&D AD4404(MODBUS RTU) 対応機種: V9/V8シリーズ 接続機種: A&D AD4404(MODBUS RTU)
接続	8. 接続機種仕様拡張 : Siemens S7-300/400MPI ラダー転送 対応機種: V9シリーズ 接続機種: Siemens S7-300/400MPI * USBラダー転送は未対応です。
接続	9. 接続機種仕様拡張 : FATEK AUTOMATION FACON FBシリーズ ラダー転送 対応機種: V9/V8シリーズ 接続機種: FATEK AUTOMATION FACON FBシリーズ
接続	10. 接続機種仕様拡張 : その他 汎用ラダー転送 対応機種: V9/V8シリーズ 接続機種: その他 汎用ラダー転送 * Baumuller製PLCとのラダー転送時に選択します。

エディタ	11. 三菱電機PLCのメモリ表記変更 * ビット部の16進数指定 対応機種: V9/V8シリーズ 接続機種: 三菱電機のPLC全て	例: D100の15ビット目を指定する場合 Ver. 6.0.15.0以降 D100-F
	<p>【概要】 V-SFTで三菱電機のワード/ダブルワードデバイスをビット指定する際、三菱電機のプログラミングソフトに合わせてビット部は「0~F」で指定します。</p>	
		Ver. 6.0.14.0以前 D100-15

12. ビデオ/RGBオプションユニット「GUR-00」、「GUR-10」、「GUR-11」対応

対応機種：V910xiW、V9150iX、V9120iS、V9100iS、V9080iS

以下のビデオ/RGBオプションユニットに対応しました。

- ・「GUR-00」ビデオ入力4CH
- ・「GUR-10」ビデオ入力2CH、RGB入力1CH
- ・「GUR-11」RGB入力2CH

*本体プログラムVer. 1.210 以降、OS Ver. 2.40 以降で対応。

13. データ転送ビューア

対応機種：V9シリーズ

ポート：LAN、LAN2、WLAN

【概要】

専用のビューアを使用して、V9シリーズ(クライアント)からネットワーク上のサーバに対してフォルダ/ファイルのアップロード/ダウンロードが行えます。クライアント、サーバ共に最新の状態を確認しながらフォルダ/ファイルの選択ができます。また、ログに成功/失敗などの実行結果も確認できます。

【表示方法】

- ・スイッチ機能: データ転送ビューア呼び出し
- ・システムメニューの「データ転送ビューア」スイッチ
- ・PLC指令

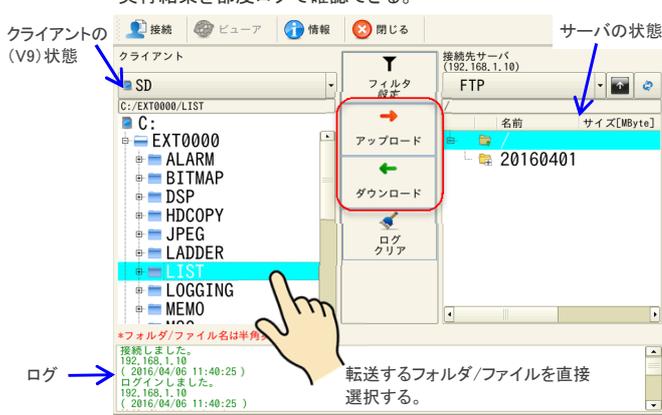
【動作】

データ転送ビューアでは、以下のことができます。

■ビューア上で直接サーバの設定を行い、サーバと接続できる。

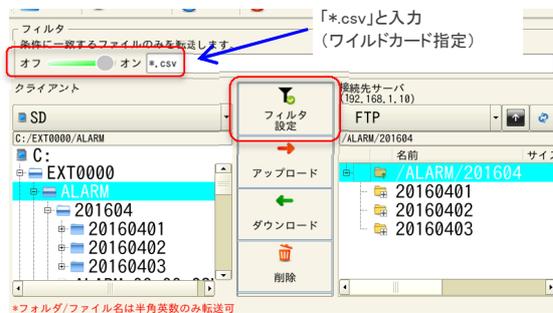
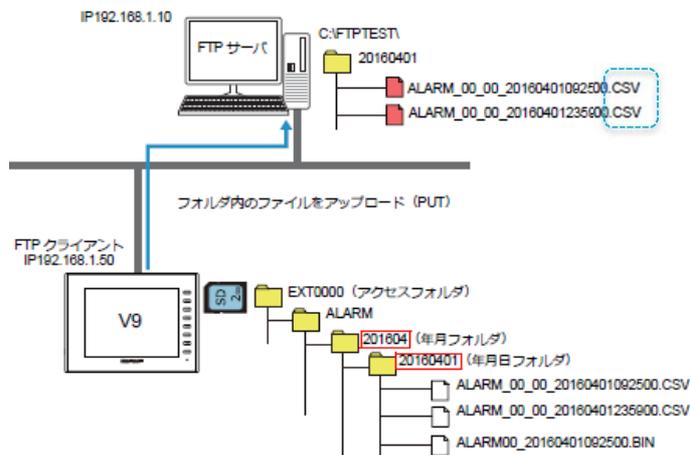


■一目で現在のクライアント/サーバの状態が確認できる。実行結果を都度ログで確認できる。



■転送するファイルにフィルタをかけることができる。

例: 選択したフォルダのCSVファイルのみ転送する



* 詳しくは『V9シリーズ リファレンスマニュアル2』を参照してください。

14. データ転送サービス フォルダ/ファイル名のデバイス指定、フィルタ機能対応

対応機種: V9シリーズ
ポート: LAN, LAN2, WLAN

【概要】

データ転送サービス(PLC指令による転送)時に、転送するフォルダ(ファイル)のデバイス指定ができます。また、転送時にフィルタもかけられます。フィルタをデバイス指定することも可能です。



レコードNo.0 編集

動作設定
レコードNo. 0
レコード名 Alarm Log 転送モード フォルダ単位でアップロード 本体->サーバ

転送条件
デバイス 内部 0 \$u 00100-00
トリガ選択 ON

転送データ設定
サーバ /
本体 ストレージ選択 C:SD
パス C: /EXT0000/ALARM

転送フォルダ デバイスで指定
内部 0 \$u 00200
~su00327

フィルタ機能を使用する デバイスで指定
*.csv

サーバ選択
No. 0
サーバ種別 FTPサーバ
サーバ名 FTPSERVER
サーバアドレス 192.168.1.10

OK キャンセル

転送するフォルダまたはファイルの
デバイス指定が可能。

フィルタ機能の設定、デバイス指定も可能。
(「フォルダ単位でアップロード」または「フォルダ
単位でダウンロード」選択時のみ)

* 詳しくは『V9シリーズ リファレンスマニュアル2』
を参照してください。

機能

15. DHCPサーバ機能

対応機種: V9シリーズ
ポート: WLAN

【概要】

V9のWLANにDHCPサーバ機能の設定が可能です。V9にDHCPサーバを設定することで、V9に対してタブレットやスマートフォンからVNCサーバでアクセスする際に、各端末側ではIPアドレスをDHCP(動的)にして簡単に接続できます。設定ミスなども防止できます。

例: WLANメニュー 【IP設定】 IP172.168.2.10

【無線オプション】 IPアドレス設定方法: 手動/DHCPサーバ

【無線設定】 動作モード: アクセスポイント

この場合、IP172.168.2.11~172.168.2.20 (10個)まで使用可。
タブレットからDHCP(動的)でアクセスすると、空きIPアドレスが
タブレットに割り当てられる。

機能

エ デ イ タ 16. Microsoft Windows 10対応

Microsoft Windows 10の32bit版、64bit版に対応しました。

エ デ イ タ 17. 画面データ転送 TCP/IP通信

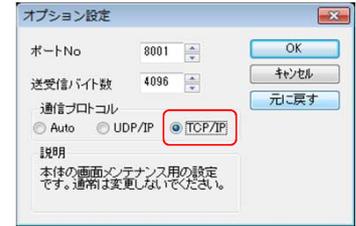
Ethernetで画面転送時、TCP/IPでの転送が可能です。インターネット経由(VPN接続など)で画面転送する場合に有効です。

【設定箇所】

[転送]タブ→[通信設定](通信ポート: Ethernet)→[オプション]→「通信プロトコル: TCP/IP」に設定する

【注意】

転送の「通信プロトコル: TCP/IP」の設定でVer. 6.0.14.0以前の本体プログラム(Ver. 1.180以前)を転送することはできません。



エ デ イ タ 18. シンボル Siemens TIA Portalインポート

【概要】

Siemens TIA Portalで作成したプロジェクトファイル(*.ap11、*.ap12、*.ap13)をシンボルとして、インポートが可能です。

* Siemens TIA Portalで「Optimized Data Block」にチェックがあるシンボルはインポートできません。

機 能 19. V8互換機能

以下のV8互換機能に対応します。

・メモリカード代替機能(レシピ)

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.14.0	
本体プログラムバージョン	V9 : 1.180	V8 : 2.130
OSバージョン	V9 : 2.30	

バージョンアップ内容

- 接続**
- 接続機種追加 : 安川電機 MP3000シリーズ拡張メモバス (Ethernet)**
 対応機種: V9/V8iシリーズ
 接続機種: 安川電機 MP3000シリーズ拡張メモバス (Ethernet)
 - 接続機種追加 : Lenze Servo Drive 9400 (Ethernet TCP/IP)**
 対応機種: V9/V8i シリーズ *内蔵LANポートのみ (通信ユニット「CUR-03」、「CUN-03-3」、「CU-03-3」は不可)
 接続機種: Lenze Servo Drive 9400 (Ethernet TCP/IP)
 - 接続機種仕様拡張 : Siemens S7-200 PPI ラダー転送機能**
 対応機種: V9シリーズ
 接続機種: Siemens S7-200 PPI

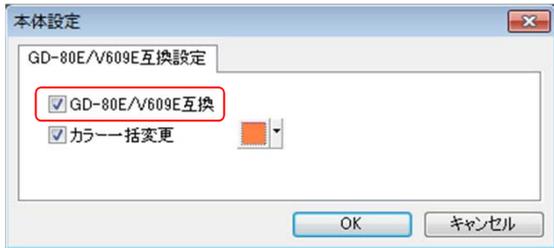
- 4. GD-80E/V609E互換機能**
 対応機種: V9100iC/V9080iC * 縦置き未対応

【概要】

モニタッチ GD-80E またはV609E (生産終了品、解像度: 640x400ドット) をV9080iCまたはV9100iC (解像度: 640x480ドット) に置き換えると、解像度が縦80ドット分大きくなるため、下に余白ができます。この機能を使用すると、自動的に縦方向にセンタリングするため、従来のレイアウトを修正する必要がありません。ローカル画面も縦方向にセンタリングして表示します。

【設定箇所】

V-SFTでGD-80EまたはV609Eの画面データを選択し、[編集機種選択]ダイアログで、「V910*iC」または「V908*iC」を選択して開くと、以下のダイアログが表示されます。[GD-80E/V609E互換]にチェックします。



機能

上下40ドットの余白(黒色)が
でき、縦方向にセンタリング
して表示する



5. DHCPクライアント機能

対応機種：V9シリーズ

ポート：LAN、LAN2、WLAN *いずれか1つ

【概要】

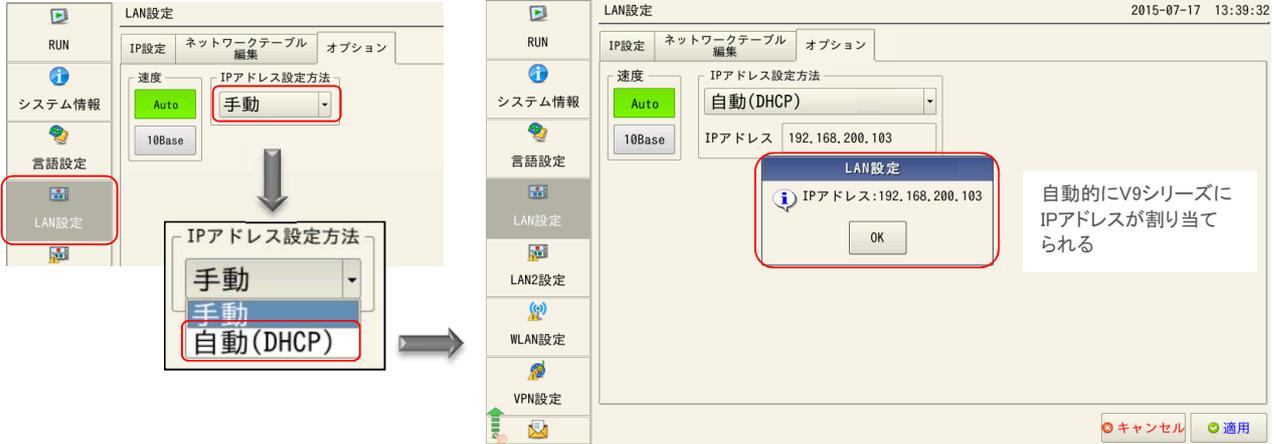
DHCPクライアント機能に対応します。ネットワーク上のDHCPサーバからネットワーク情報を取得し、自動的にV9シリーズにIPアドレスが割り当てられるため、VPN、E-Mail送信機能など、インターネット経由で使用する機能の場合に設定が便利です。

【条件】

ネットワーク上にDHCPサーバ(ルータなど)があること

【設定箇所】

ローカル画面→「LAN設定」画面



機能

6. カレンダの自動補正の仕様変更

対応機種：V9シリーズ

【概要】

PLCカレンダー使用時の自動補正時間を、日付変更時ではなく、午前1時23分45秒に変更します。1度実行した後は、カレンダーの日付が変わらない限り、自動補正は行いません。

機能

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.12.0	
本体プログラムバージョン	V9 : 1.130	V8 : 2.130
OSバージョン	V9 : 2.10	

バージョンアップ内容

接続	1. 接続機種追加 : 三菱電機 FX5U/5UCシリーズ`CPU 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : 三菱電機 FX5U/5UCシリーズ`CPU
接続	2. 接続機種追加 : 三菱電機 FX5U/5UCシリーズ` (Ethernet) 対応機種 : V9/V8i シリーズ 接続機種 : 三菱電機 FX5U/5UCシリーズ` (Ethernet)
接続	3. 接続機種追加 : 三菱電機 FX3U/3GEシリーズ` (Ethernet) 対応機種 : V9/V8iシリーズ 接続機種 : 三菱電機 FX3U/3GEシリーズ` (Ethernet)
接続	4. 接続機種追加 : 三菱電機 Lシリーズ`CPU 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : 三菱電機 Lシリーズ`CPU
接続	5. 接続機種追加 : キーエンス KV-7000 (Ethernet TCP/IP) 対応機種 : V9/V8iシリーズ 接続機種 : キーエンス KV-7000 (Ethernet TCP/IP)
接続	6. 接続機種追加 : 富士電機 PXF (MODBUS RTU) 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : 富士電機 PXF (MODBUS RTU)
接続	7. 接続機種追加 : 横河電機 μR10000/20000 (Ethernet TCP/IP) 対応機種 : V8iシリーズ 接続機種 : 横河電機 μ R10000/20000 (Ethernet TCP/IP) * V9シリーズはVer. 6.0.11.0で対応済み。
接続	8. 接続機種追加 : アズビル SDC15 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : アズビル SDC15
接続	9. 接続機種追加 : アズビル SDC25/26 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : アズビル SDC25/26
接続	10. 接続機種追加 : アズビル SDC45/46 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : アズビル SDC45/46
接続	11. 接続機種仕様拡張 : 三菱電機 MR-J3-*A 英語版リストファイルの追加 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : 三菱電機 MR-J3-*A

12. 動画ビューア ★OSバージョンアップ必要

対応機種：V9シリーズ

【概要】

ストレージに格納した動画ファイルをV9本体で再生できます。
トラブルの対処方法や本体の操作方法を確認したい時に役立ちます。
あらかじめ動画ファイルを複数用意し、再生したいファイルを選択したり、アラーム発生時に外部指令で動画ビューアを起動することもできます。

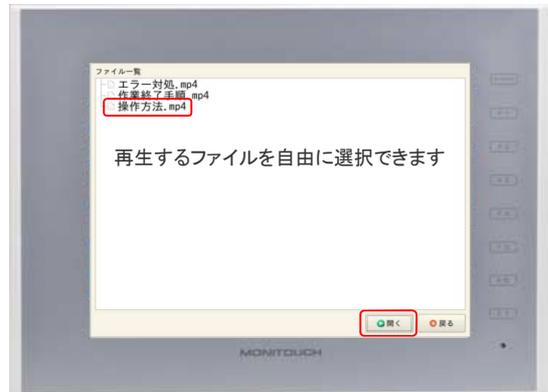
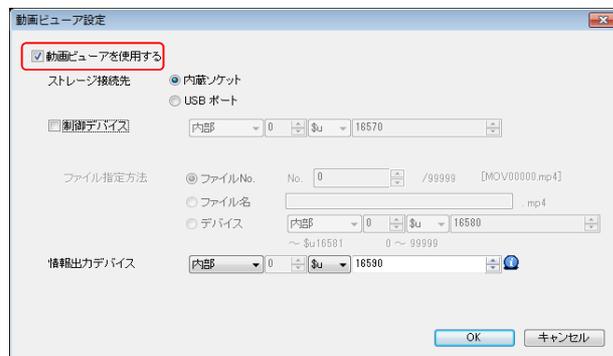


【動画ファイル仕様】

MPEG-4ファイル(拡張子「*.mp4」)

【設定箇所】

[システム設定]→[その他]→[動画ビューア設定]→[動画ビューアを使用する]



【表示方法】

- ・スイッチ機能:動画ビューア表示
- ・システムメニューの「動画ビューア」スイッチ
- ・PLC指令

13. PDFビューア機能追加

対応機種：V9シリーズ

パーツ：スイッチ

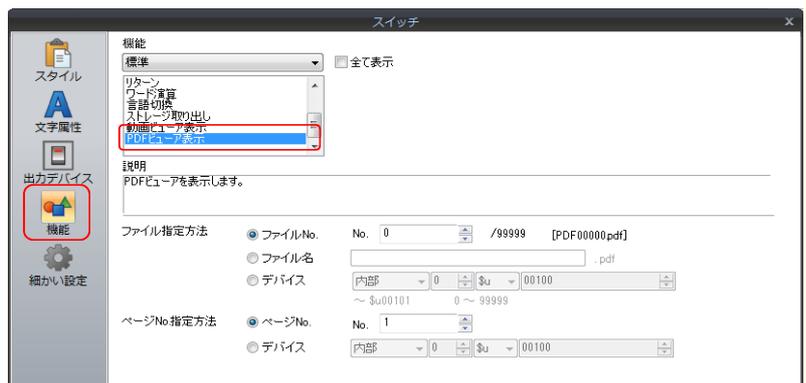
【概要】

PDFビューアを任意のスイッチから表示できます。

【設定箇所】

スイッチダイアログ→[機能]→[機能:PDFビューア表示]

- * [システム設定]→[その他]→[PDFビューア設定]→[PDFビューアを使用する]の設定が必要です。



14. ラダー転送機能 フロー制御対応(三菱電機AシリーズCPU接続時のみ有効)

接続機種：三菱電機 AシリーズCPU

【概要】

三菱電機 AシリーズCPUに対してラダー転送機能を使用する場合、LadderComOp(ラダー転送設定)にて、[フロー制御を行う]にチェックします。

【設定箇所】

LadderComOp(ラダー転送設定)→[フロー制御を行う]



機能

機能

機能

15. デバイスのゼロサプレス表示

【概要】

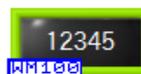
桁数が多いデバイスの場合にゼロサプレス表示をすることで、確認しやすくなります。

【設定箇所】

[表示]→[表示環境]→[ゼロサプレス表示]



チェックあり



チェックなし



*パーツにデバイスを表示させる時のみ対応。

エディタ

16. ダイアログの改善

【概要】

パーツ/アイテムダイアログの[細かい設定]を常時表示します。パーツの座標/サイズ修正の設定がしやすくなります。



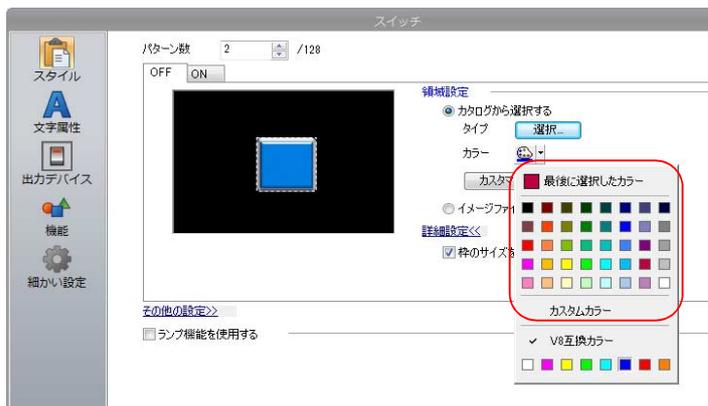
エディタ

17. V8互換機能

以下のV8互換機能に対応します。

- ・リアルパーツ/3DパーツのV8互換カラー *
- ・ロギング [システム設定]→[ロギングサーバ]→[その他]→[演算を使用する]
- ・セキュリティ機能 ログイン画面
- ・マクロコマンド SMPL_BAK, SMPL_CSV, SMPL_CSV2, SMPLCSV_BAK, SMPLCSV_BAK2, SMPL_SAVE, SYS(SET_BUFNO), SYS (RESTART)

* リアルパーツ/3Dパーツで、V8互換カラー以外を選択した画面データは、Ver. 6.0.11.0以前のエディタで開けません。「画面データに使用できない機能があるためファイルを開くことができません。バージョンアップをしてください。」のエラーメッセージが出ます。Ver. 6.0.12.0をご使用ください。



機能

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.5.0	
本体プログラムバージョン	V9 : 1.060	V8 : 2.080
OSバージョン	V9 : 1.40	

バージョンアップ内容

接続	1. 接続機種追加 : Allen-Bradley Micro800 Controllers 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : Allen-Bradley: Micro800 Controllers
接続	2. 接続機種追加 : Allen-Bradley Micro800 Controllers(Ethernet TCP/IP) 対応機種 : V9/V8i シリーズ 接続機種 : Allen-Bradley: Micro800 Controllers(Ethernet TCP/IP)
接続	3. 接続機種追加 : Modbusスレーブ(ASCII) 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : Modbusスレーブ(ASCII)
接続	4. 接続機種追加 : 東芝 VF-S15 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : 東芝 VF-S15
接続	5. 接続機種追加 : 東芝 VF-MB1 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : 東芝 VF-MB1
接続	6. 接続機種追加 : 東芝 VF-nC3 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : 東芝 VF-nC3
接続	7. 仕様拡張 : 富士電機 ALPHA5(MODBUS RTU) ボーレート設定 対応機種 : V9/V8シリーズ 接続機種 : 富士電機 ALPHA5(MODBUS RTU) ボーレート : 57600/76800/115K BPS

8. PDFビューア

対応機種 : V9シリーズ

【概要】

ストレージに格納したPDFファイルをV9本体で表示できます。
装置説明書やエラー詳細を格納しておけば、トラブルの早期解決につながります。
しおり表示、文字列検索も行えます。

【設定箇所】

[システム設定]→[その他]→[PDFビューア設定]



【表示方法】

- ・システムメニューの「PDFビューア」スイッチ
- ・PLC指令

システムメニュー



PDFビューア



機能

9. データ転送サービス

対応機種：V9シリーズ

【概要】

V9シリーズがクライアントとなり、ネットワーク上のサーバにアクセスできます。
ストレージ内のファイル(フォルダ)のアップロード、サーバ内のファイル(フォルダ)のダウンロードができます。

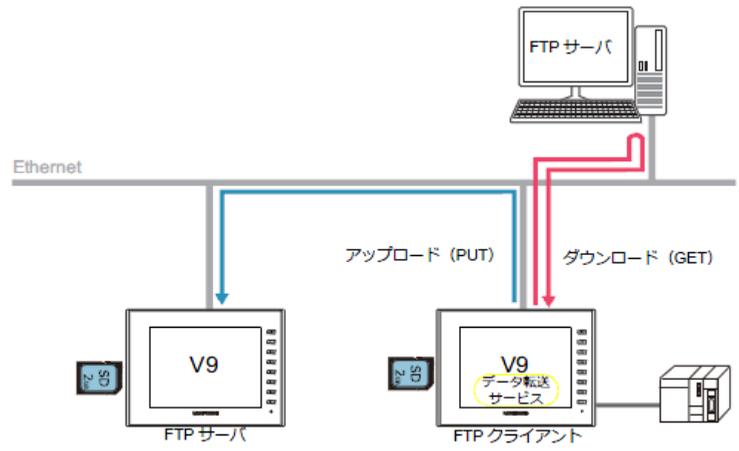
【設定箇所】

[システム設定]→[データ転送サービス]



【実行方法】

トリガビットのON/OFF



機能

10. 文字列テーブル

対応機種：V9シリーズ

パーツ：スイッチ/ランプ/テキスト/マルチテキスト

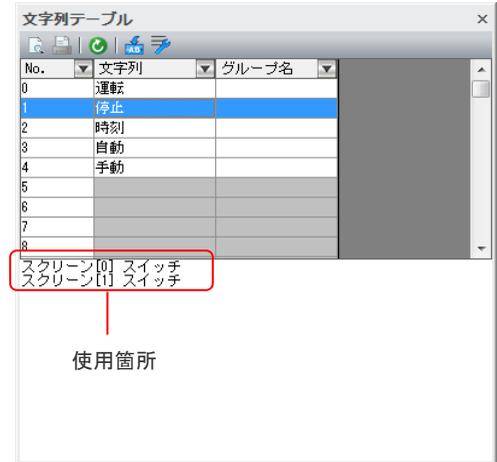
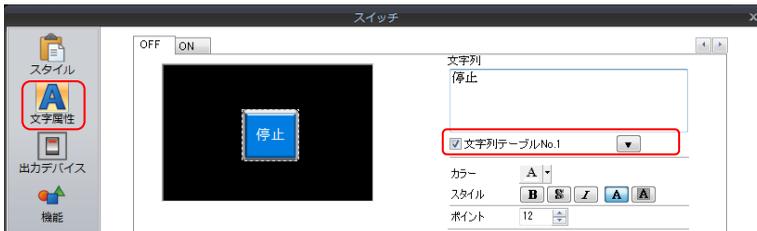
【概要】

「文字列テーブル」に登録した文字をスイッチ/ランプ等のアイテムに使用できます。
画面データ内の文字列を一元管理できます。

【登録箇所】

[ホーム]→[登録項目]→[文字列テーブル]

設定例：スイッチ



機能

11. ラダーモータ機能/IOモニタ機能

対応機種：V9シリーズ

接続機種：三菱電機

QnAシリーズリンク、QnAシリーズ (Ethernet)
QnH(Q)シリーズリンク、QnH(Q)シリーズリンク (マルチCPU)
QnH(Q)シリーズCPU、QnH(Q)シリーズCPU (マルチCPU)
QnUシリーズCPU、QnUシリーズ (内蔵Ethernet)
QnH(Q)シリーズ (Ethernet)、QnH(Q)シリーズ (マルチCPU) (Ethernet)
QnH(Q)シリーズ (Ethernet ASCII)、QnH(Q)シリーズ (マルチCPU) (Ethernet ASCII)
オムロン SYSMAC CS1/CJ1、SYSMAC CS1/CJ1 (Ethernet)、SYSMAC CS1/CJ1 (Ethernet Auto)
横河電機 FA-M3、FA-M3R、FA-M3V

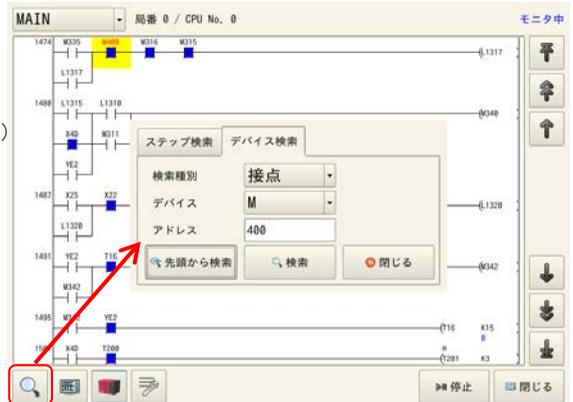
ラダーモータ画面：検索

【概要】

PLCのラダープログラムをV9本体上に表示できます。
IOモニタ画面では、指定アドレスの値やビット状態をモニタできます。
PLCからラダープログラムをアップロードすることもできます。(※一部PLC機種 非対応)

【設定箇所】

[システム設定]→[ハードウェア設定]→[PLCプロパティ]→[ラダーモニタ]



機能

IOモニタ画面：ビット



IOモニタ画面：ワード



12. KeepAlive機能対応

対応機種：V9シリーズ全て

接続機種：各社PLC Ethernet接続機種 全て

【概要】

ネットワーク上の機器との接続が有効であることを確認するために、定期的に行う通信確認機能です。
この機能を使用すると、通信エラーの検出が迅速に行えるため、タイムアウト発生から「切断」処理が実行されるまでの待ち時間を大幅に短縮できます。

【設定箇所】

[システム設定]→[ハードウェア設定]→[PLCプロパティ]→[通信異常処理:切断]
[システム設定]→[ハードウェア設定]→[PLCプロパティ]→[KeepAlive使用:する]



機能

13. 編集機種追加

対応機種：V9150iX / V9120iS / V907xiW / V9060iT
V8シリーズ全機種

V9シリーズ新機種、V8シリーズの編集に対応しました。

エ
デ
イ
タ

14. Windowsフォント滑らか表示

対応機種：V9シリーズ

【概要】

Windowsフォントの文字の縁を滑らかに表示できます。

【設定箇所】

各アイテムの[文字属性]→[Windowsフォントを使用する]→[縁を滑らかにする]チェックあり

テキスト設定例



機能

15. V8互換機能

以下のV8互換機能に対応します。

- ・プリンタ機種追加 (PR201、ESC/P、CBM292/293、MR-400)
- ・トレンドグラフ バックグラウンド機能
- ・入力モード 直接機能

機能

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.4.0
本体プログラムバージョン	V9 : 1.050
OSバージョン	V9 : 1.30

バージョンアップ内容

接続

1. 接続方法追加 : マルチリンク、マルチリンク2 (Ethernet)

対応機種 : V9シリーズ全て
 接続機種 : 詳しくは『V9シリーズ 接続マニュアル』参照

2. ラダー転送機能 3Way対応

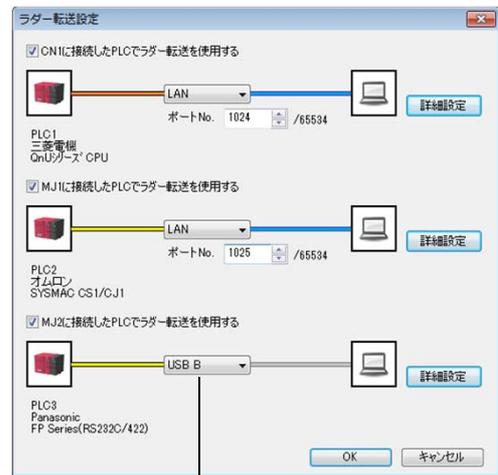
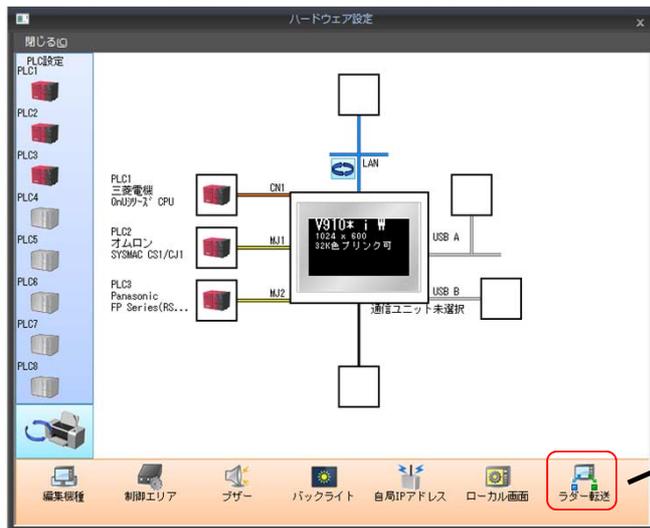
PLC1~8に登録したPLC(シリアル接続)のうち、3つまでラダー転送機能が使用できます。

【設定箇所】

V-SFTの[システム設定]→[ハードウェア設定]→[ラダー転送]

* ラダー転送機能対応機種について、詳しくは『V9シリーズ リファレンスマニュアル2』参照

機能



パソコンと接続するV9のポートを選択します。

3. 操作ログビューア ソート、フィルタ、検索

- ・ソート、フィルタ
 [昇順][降順]スイッチでビューア上をソートしたり、表示項目を選択できます。
- ・検索
 項目と文字列を選択して検索すると、ビューア上で該当箇所が緑色に反転表示されます。

機能

日付 / 時間	スクリーンNo	ユーザーID	セキュリティレベル	動作
2014/04/12 07:51	35		0	スイッチ操作
2014/04/12 07:51			0	画面切替
2014/04/12 07:51	18		0	スイッチ操作
2014/04/12 07:51			0	画面切替
2014/04/12 07:51	40		0	スイッチ操作
2014/04/12 07:51			0	画面切替
2014/04/12 07:51	6		0	スイッチ操作
2014/04/12 07:51			0	画面切替
2014/04/12 07:51	5		0	スイッチ操作
2014/04/12 07:51			0	画面切替
2014/04/12 07:51	7		0	スイッチ操作
2014/04/12 07:51			0	画面切替
2014/04/12 07:51	5		0	スイッチ操作
2014/04/12 07:51			0	画面切替
2014/04/12 07:51	7		0	スイッチ操作
2014/04/12 07:51			0	画面切替
2014/04/12 07:51	8		0	スイッチ操作
2014/04/12 07:51			0	画面切替

[ソート、フィルタ]

[動作]欄をタッチする

昇順/降順の切り替え

表示項目の選択

動作	表示 / 非表示
モード切替	<input type="checkbox"/>
スイッチ操作	<input checked="" type="checkbox"/>
画面切替	<input checked="" type="checkbox"/>
画面切替	<input checked="" type="checkbox"/>
スイッチ操作 (Mon)	<input checked="" type="checkbox"/>

全て表示 全て非表示 閉じる

[検索]アイコンをタッチする

検索

項目 動作

文字列 スイッチ操作

前へ 次へ 閉じる

[次へ]をタッチする

日付 / 時間	スクリーンNo	ユーザーID	セキュリティレベル	動作
2014/04/12 07:51	35		0	スイッチ操作
2014/04/12 07:51			0	画面切替
2014/04/12 07:51	18		0	スイッチ操作
2014/04/12 07:51			0	画面切替
2014/04/12 07:51	40		0	スイッチ操作
2014/04/12 07:51			0	画面切替

緑色に反転

機能

4. VNCサーバー機能 クライアントの接続状態確認(\$s1674)

VNCクライアント(例:タブレットなど)の接続状態がシステムデバイス \$s1674に出力されます。
V9側(VNCサーバー)で、ステータスバーに加えて\$s1674でも接続状態の確認が行えます。

15	14	13	12	11	10	09	08	07	06	05	04	03	02	01	00
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

0: 未接続
1: 接続中

エディタ

5. Microsoft Windows 8.1対応

Microsoft Windows 8.1の32bit版、64bit版に対応しました。

エディタ

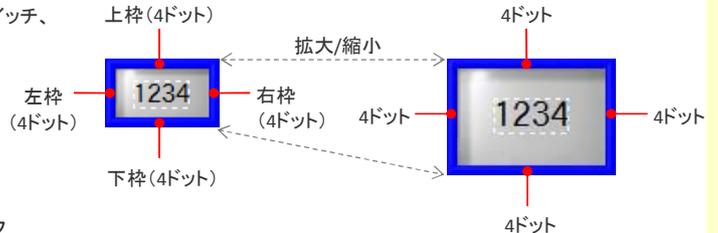
6. パーツのきれいな拡大・縮小(枠固定)

対象アイテムをスイッチ、ランプに加えて、以下のパーツを追加しました。
枠の太さを変えずにきれいな拡大縮小ができます。

対象アイテム: 数値表示、文字列表示、メッセージ表示、スライダスイッチ、
バーグラフ、円グラフ、パネルメータ、統計バーグラフ、
カレンダー、スクロールバー

条件: 枠ありの角型リアル、3Dパーツ(一部除く)

【設定箇所】例: 数値表示
数値表示ダイアログ→[スタイル]→[枠のサイズを固定する]にチェック

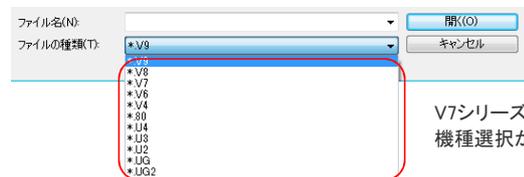


エディタ

7. V7、V6、V4、GD-80シリーズ→V9シリーズに変換

V7、V6、V4、GD-80シリーズの画面データをV9シリーズに変換できます。

【ファイルを開く】ダイアログ



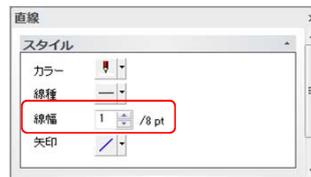
V7シリーズ以前の機種選択が可能

エディタ

8. 作画パーツの線幅変更

作画パーツの線幅を1~8ポイントまで変更できます。

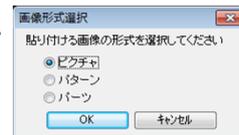
線種: 太線以外全て可



エディタ

9. Microsoft Officeの図形貼り付け

Microsoft OfficeのWordやExcelなどの図形をコピーして、そのままV-SFTに貼り付けることができます。
図形は、ピクチャ、パターン、パーツに変換して、貼り付けできます。

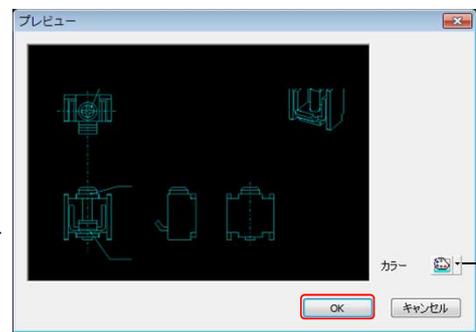


エディタ

10. DXFファイルのPNGファイル変換

DXFファイルを1枚の絵としてPNGファイルに変換して取り込みできます。
グラフィックライブラリの使用量を節約することができます。

【設定箇所】
[ツール]→[DXFファイルの変換]→[ピクチャに変換]にチェック



一括でカラー設定することができます。

機能とエディタ

11. V8互換機能

以下のV8互換機能に対応します。

- ・スイッチ 「機能:ローカル画面切替」
- ・アラーム表示(V8) 「時間差表示」
- ・ストレージへのパターン、3Dパーツ、Windowsフォント格納
- ・オーバーラップ 領域透過
- ・アニメーション
- ・GD-80E/V609E互換設定 カラー一括変更(32K色、64K色可)
- ・Ethernet CFカード関数(VCFacs.DLL)

MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.2.0
本体プログラムバージョン	V9 : 1.030
OSバージョン	V9 : 1.10

バージョンアップ内容

接続	<p>1. 接続機種追加 : 富士電機 Tリンク 対応機種: V9シリーズ全て + 通信ユニット CUR-01 接続機種: 富士電機 MICREX-SX (Tリンク) MICREX-Fシリーズ Tリンク MICREX-Fシリーズ Tリンク V4互換</p>
接続	<p>2. 接続機種追加 : 富士電機 SXバス 対応機種: V9シリーズ全て + 通信ユニット CUR-06 接続機種: 富士電機 MICREX-SX (SXバス)</p>
接続	<p>3. 接続機種追加 : Modbusスレーブ (TCP/IP) 対応機種: V9シリーズ全て 接続機種: Modbusスレーブ (TCP/IP)</p>
接続	<p>4. 接続機種仕様拡張 : ラダー転送機能 対応機種: V9シリーズ全て 接続機種: 三菱電機 QnH(Q)シリーズCPU QnUシリーズCPU Q00J/00/01CPU QnH(Q)シリーズCPU(マルチCPU) Q170MCPUs(マルチCPU) FXシリーズCPU FX2N/1NシリーズCPU FX1SシリーズCPU FX3U/3UC/3GシリーズCPU</p> <p>オムロン SYSMAC C SYSMAC CS1/CJ1 Panasonic FP Series(RS232C/422) FP7 Series(RS232C/422) 横川電機 FA-M3 FA-M3R FA-M3V 富士電機 SPB(Nモード)&FLEX-PC CPU MICREX-SX SPH/SPB/SPM/SPE CPU Allen-Bradley SL C500 SAMSUNG SECNET RS Automation N7/NX Series(70/700/750/CCU)</p> <p>【設定箇所】 V-SFTの[システム設定]→[ハードウェア設定]→[PLC1プロパティ] →[ラダー転送ポート]</p>  <p>例: USBラダー転送</p> <p>パソコンの[スタート]→[すべてのプログラム]→[V-SFTV6]→[LadderComOp] →[ラダー転送設定]</p> 
接続	<p>5. 接続機種仕様拡張 : MICREX-SX変数名連携機能 可搬ファイル以外にプロジェクトファイルとの変数名連携が可能です。</p> <p>対応機種: V9シリーズ全て 接続機種: 富士電機 MICREX-SX SPH/SPB/SPM/SPE CPU IECモード MICREX-SX SPH/SPB/SPM/SPE シリーズ IECモード MICREX-SX (Ethernet) IECモード MICREX-SX (Tリンク) IECモード MICREX-SX (SXバス) IECモード</p>

6. Web Machine Interface (VPN機能) 対応

V9にVPNルータ機能を搭載します。VPN専用ルータを用意することなく、インターネット環境があれば、簡単にVPN接続できます。SSL-VPN対応なのでデータの盗聴、改ざんの心配もなく、安全なリモートアクセスができます。

詳しくは、ホームページを参照してください。
<http://www.hakko-elec.co.jp/site/vpn/>



VPN=Virtual Private Network

7. レシピ ファイル/レコード名フィルタ機能

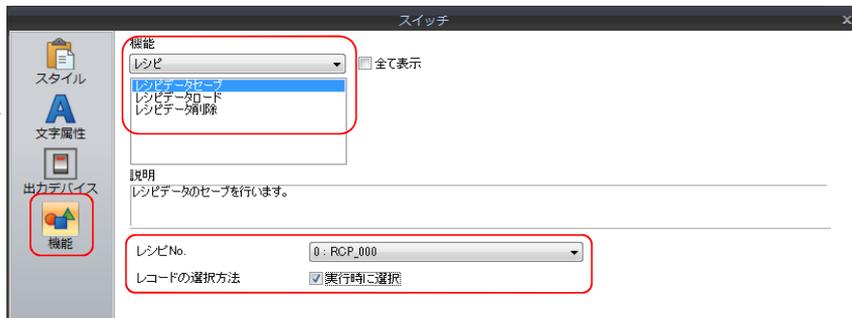
対応機種 : V9シリーズ全て
 対象アイテム : レシピのスイッチ

【概要】

スイッチを押した時にレシピ選択用ダイアログを表示させ、対象のレシピファイルまたはレコードを選択して実行できます。

【設定箇所】

スイッチダイアログ→[機能]→[機能:レシピ]→「レコードの選択方法:実行時に選択」にチェック

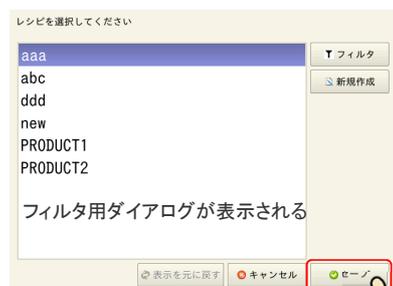


【本体操作】

スイッチを押す



レシピ選択用ダイアログで“aaa”レシピを選択して、[セーブ]を押す



* レシピが多い場合、[フィルタ]で検索できます



“a”で始まるレシピをリスト表示

詳しくは、『V9シリーズ リファレンスマニュアル 1』を参照してください

8. エミュレータ対応

パソコン上で画面の動作確認ができます。本体の代わりに「エミュレータ」、相手機器の代わりに「シミュレータ」を使用します。ファンクションスイッチの動作確認やシステムメニューの使用も可能です。

【起動箇所】



ファンクションスイッチ



システムメニュー
 (ローカル画面への切り替えも可能)



9. V-SFT Ver. 6メニューの多言語対応 中国語(簡体字、繁体字)、韓国語 * 日本語OS以外

V-SFT Ver. 6のメニューが中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、韓国語に対応します。V-SFTインストール時に使用言語を選択してインストールします。

【切替箇所】

アプリケーションアイコン



リボンメニュー
 [ファイル]内



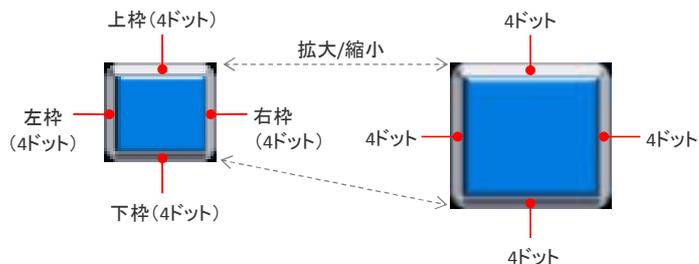
言語変更後、必ずV-SFT Ver. 6を起動し直す必要があります。

10. パーツのきれいな拡大・縮小(枠固定)

対象アイテム：スイッチ、ランプ
条件：枠ありの角型リアル、3Dパーツ(一部除く)

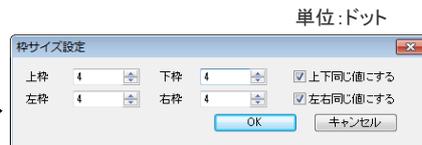
【概要】

パーツごとに枠サイズを固定に設定できるため、大きさを変更する際、枠の太さを変えずにきれいな拡大縮小ができます。



【設定箇所】例:スイッチ

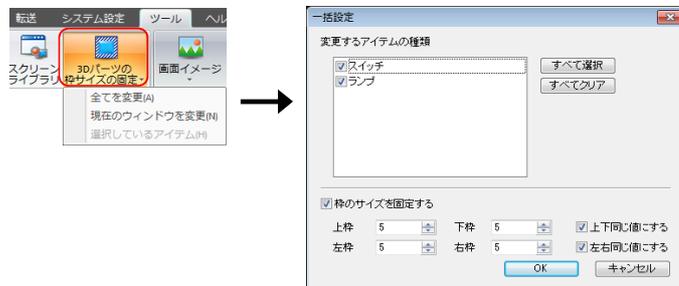
スイッチダイアログ→[スタイル]→[枠のサイズを固定する]にチェック



* 画面に配置したパーツの枠サイズを一括設定することができます。

【設定箇所】

[ツール]→[3Dパーツの枠サイズの固定]



11. パーツの追加

プレートパーツを新たに追加しました。
背景などに使用します。

【カタログの表示方法】

[パーツ]→[カタログ]→[パーツ : プレート]

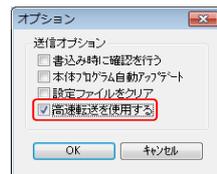
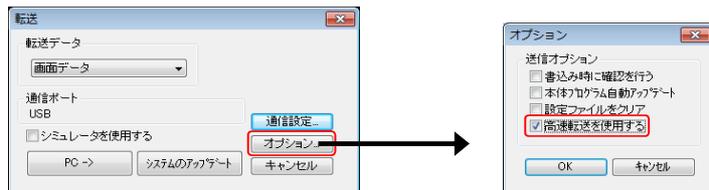


12. 画面データ的高速転送

画面データと本体の差分のみ転送することができるため、転送にかかる時間の短縮ができます。

【設定箇所】

[転送]→[書込]→[オプション]→[高速転送を使用する]にチェック



13. V8互換機能

以下のV8互換機能に対応します。

- ・スイッチ 「ワード演算：加算/減算」の速度アップ
- ・トレンドグラフ重ね合わせ機能(親子トレンド)
- ・ストレージへのメッセージ格納(TXT、BIN)